

「医療の達成度、患者満足度に係わる調査」 調査結果

・ 調査概要

(1) 調査対象施設

調査対象施設数

29 施設（うち大学病院 24 施設、社会保険病院 5 施設）

調査対象病院一覧

区分	地区	病院名
大学病院	北海道	北海道大学病院
		札幌医科大学附属病院
	東北	東北大学医学部附属病院
		岩手医科大学附属病院
	東京	昭和大学病院
		東京医科歯科大学医学部附属病院
		東京慈恵会医科大学附属病院
		順天堂大学医学部附属順天堂病院
	関東	横浜市立大学医学部附属病院
		群馬大学医学部附属病院
		埼玉医科大学病院
	中部	名古屋大学医学部附属病院
		金沢大学医学部附属病院
	関西	大阪大学医学部附属病院
		大阪市立大学附属病院
		大阪医科大学附属病院
	中国	広島大学病院
		鳥取大学医学部附属病院
		川崎医科大学附属病院
	四国	徳島大学病院
	九州	九州大学病院
		福岡大学病院
		鹿児島大学病院
		久留米大学病院
社会保険病院	東北	宮城社会保険病院
		社会保険中京病院
	九州	健康保険諫早総合病院
		健康保険八代総合病院

(2) 調査対象

調査の種類	調査対象
医療達成度調査	DPC に関連する診療科に属する医師および看護師
患者満足度調査	調査期間内に退院する患者

(3) サンプル数

医療達成度調査

ア．配布数 22,263

イ．回収数 15,154

ウ．回収率 69.4%

患者満足度調査

ア．配布数 14,500

イ．回収数 7,394

ウ．回収率 51.0%

・調査結果

1. 医療達成度調査

1-1 サンプル数および回答者の属性

(1) サンプル数

15,154 サンプル (配布数 22,263、回収率 69.4%)

(2) 回答者の属性

		医師		看護師	
		人数	構成比	人数	構成比
総数		4,264 人	100.0%	10,560 人	100.0%
性別	男性	3,669 人	86.0%	201 人	1.9%
	女性	584 人	13.7%	10,319 人	97.7%
	無回答	11 人	0.3%	40 人	0.4%
年代	20歳未満	0 人	0.0%	6 人	0.1%
	20歳代	523 人	12.3%	5,861 人	55.5%
	30歳代	2,033 人	47.7%	2,604 人	24.7%
	40歳代	1,254 人	29.4%	1,220 人	11.6%
	50歳代	276 人	6.5%	670 人	6.3%
	60歳代以上	51 人	1.2%	13 人	0.1%
	無回答	127 人	3.0%	186 人	1.8%
地域	北海道	419 人	9.8%	715 人	6.8%
	東北	426 人	10.0%	1,043 人	9.9%
	関東	628 人	14.7%	1,639 人	15.5%
	東京	415 人	9.7%	1,076 人	10.2%
	中部	426 人	10.0%	1,305 人	12.4%
	関西	462 人	10.8%	1,446 人	13.7%
	中国・四国	593 人	13.9%	1,356 人	12.8%
	九州	890 人	20.9%	1,980 人	18.8%
	無回答	5 人	0.1%	0 人	0.0%
機関	大学病院	4,130 人	96.9%	9,580 人	90.7%
	国立	2,277 人	53.4%	4,144 人	39.2%
	公立	427 人	10.0%	1,293 人	12.2%
	私立	1,426 人	33.4%	4,143 人	39.2%
	社会保険病院	129 人	3.0%	980 人	9.3%
	無回答	5 人	0.1%	0 人	0.0%

1-2 調査結果

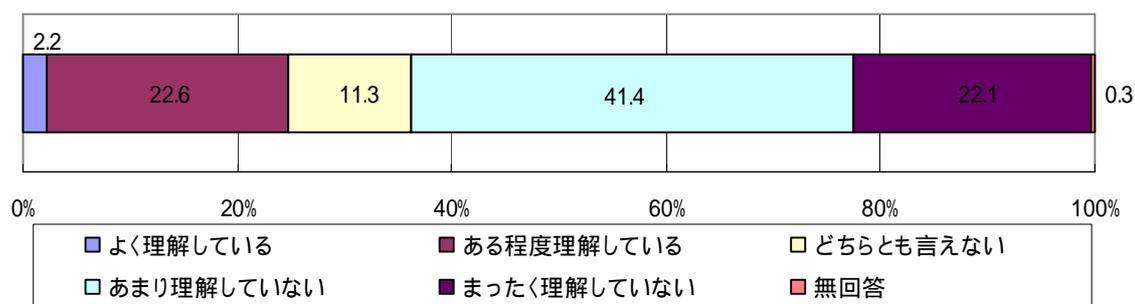
(1) DPC の診断群分類についての理解度

全体傾向

DPC の診断群分類については、「あまり理解していない」(41.4%)という回答が4割強を占める。「まったく理解していない」(22.1%)という回答も2割強あり、6割以上の職員がDPCの診断群分類について十分に理解していないという結果となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よく理解している」(6.2%)と「ある程度理解している」(47.1%)をあわせ、5割以上が理解していると回答しており、比較的高い理解度を示している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(47.2%)、「まったく理解していない」(28.2%)という回答で8割近くを占めており、DPCの診断群分類に対する理解度は非常に低く、医師と看護師の間でDPCの診断群分類に対しては理解度に大きな差がある。



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答	
全体	人	15,154	328	3,432	1,714	6,273	3,354	53	
	%	100.0	2.2	22.6	11.3	41.4	22.1	0.3	
職制別	医師	人	4,264	263	2,010	516	1,153	312	10
		%	100.0	6.2	47.1	12.1	27.0	7.3	0.2
	看護師	人	10,560	52	1,349	1,155	4,985	2,981	38
		%	100.0	0.5	12.8	10.9	47.2	28.2	0.4
無回答	人	330	13	73	43	135	61	5	
	%	100.0	3.9	22.1	13.0	40.9	18.5	1.5	

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、「よく理解している」という回答が4.1ポイント、「ある程度理解している」という回答が10.6ポイント、男性が女性を上回っており、男性の方が女性よりも理解度が高くなっている。

イ．年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(38.2%)、「まったく理解していない」(14.5%)をあわせて、5割以上が理解していないと回答している。一方で、50歳代では「よく理解している」(7.6%)、「ある程度理解している」(60.1%)をあわせて7割近くが理解していると回答しており、年代が上がるほど理解度が高くなる傾向が見られる。

ウ．地域別

病院が立地する地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院で比較すると、社会保険病院では「よく理解している」(13.2%)、「ある程度理解している」(62.8%)をあわせ 8 割弱が理解していると回答しており、社会保険病院の方が大学病院よりもより理解度が高い。

また、国・公・私立の別では、国立の大学病院で「あまり理解していない」(29.7%)という回答がやや高いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答	
医師	人	4,264	263	2,010	516	1,153	312	10	
	%	100.0	6.2	47.1	12.1	27.0	7.3	0.2	
性別	男性	人	3,669	247	1,783	436	951	242	10
		%	100.0	6.7	48.6	11.9	25.9	6.6	0.3
	女性	人	584	15	222	78	200	69	-
		%	100.0	2.6	38.0	13.4	34.2	11.8	-
無回答		人	11	5	2	2	1	-	
		%	100.0	9.1	45.5	18.2	18.2	9.1	
年代別	20歳未満		人	-	-	-	-	-	-
			%	-	-	-	-	-	-
	20歳代		人	523	12	166	69	200	76
			%	100.0	2.3	31.7	13.2	38.2	14.5
	30歳代		人	2,033	100	878	287	599	165
			%	100.0	4.9	43.2	14.1	29.5	8.1
	40歳代		人	1,254	111	716	120	256	46
			%	100.0	8.9	57.1	9.6	20.4	3.7
	50歳代		人	276	21	166	21	58	10
			%	100.0	7.6	60.1	7.6	21.0	3.6
60歳代以上		人	51	8	31	4	7	1	
		%	100.0	15.7	60.8	7.8	13.7	2.0	
無回答		人	127	11	53	15	33	14	
		%	100.0	8.7	41.7	11.8	26.0	11.0	
地域別	北海道		人	419	23	213	47	107	28
			%	100.0	5.5	50.8	11.2	25.5	6.7
	東北		人	426	32	197	53	108	32
			%	100.0	7.5	46.2	12.4	25.4	7.5
	関東		人	628	50	300	72	163	43
			%	100.0	8.0	47.8	11.5	26.0	6.8
	東京		人	415	17	185	61	115	37
			%	100.0	4.1	44.6	14.7	27.7	8.9
	中部		人	426	29	195	43	116	43
			%	100.0	6.8	45.8	10.1	27.2	10.1
関西		人	462	27	226	50	116	41	
		%	100.0	5.8	48.9	10.8	25.1	8.9	
中国・四国		人	593	42	255	62	183	49	
		%	100.0	7.1	43.0	10.5	30.9	8.3	
九州		人	890	43	437	127	244	38	
		%	100.0	4.8	49.1	14.3	27.4	4.3	
無回答		人	5	-	2	1	1	1	
		%	100.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	
機関別	大学病院		人	4,130	246	1,927	510	1,129	308
			%	100.0	6.0	46.7	12.3	27.3	7.5
	国立	人	2,277	124	1,017	261	676	193	6
		%	100.0	5.4	44.7	11.5	29.7	8.5	0.3
	公立	人	427	27	212	58	103	27	-
		%	100.0	6.3	49.6	13.6	24.1	6.3	-
	私立	人	1,426	95	698	191	350	88	4
		%	100.0	6.7	48.9	13.4	24.5	6.2	0.3
社会保険病院		人	129	17	81	5	23	3	
		%	100.0	13.2	62.8	3.9	17.8	2.3	
無回答		人	5	-	2	1	1	1	
		%	100.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、20歳代で「あまり理解していない」(47.7%)、「まったく理解していない」(33.3%)をあわせ、8割以上が理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で24.7%、50歳代で36.6%となっており、医師同様に、年代が上がるほど理解度が高くなる傾向が見られる。

ウ．地域別

地域別でみると、北海道および中国・四国で「まったく理解していない」という回答が高くなっているが、理解しているという回答はいずれの地域でも少なく、地域による大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、社会保険病院では「ある程度理解している」(17.0%)となっており、大学病院に比べるとややより理解度が高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別では、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答		
看護師	人	10,560	52	1,349	1,155	4,985	2,981	38		
	%	100.0	0.5	12.8	10.9	47.2	28.2	0.4		
性別	男性	人	201	1	22	33	81	64	-	
		%	100.0	0.5	10.9	16.4	40.3	31.8	-	
	女性	人	10,319	47	1,317	1,116	4,893	2,908	38	
		%	100.0	0.5	12.8	10.8	47.4	28.2	0.4	
	無回答	人	40	4	10	6	11	9	-	
		%	100.0	10.0	25.0	15.0	27.5	22.5	-	
年代別	20歳未満	人	6	-	1	2	1	2	-	
		%	100.0	-	16.7	33.3	16.7	33.3	-	
	20歳代	人	5,861	14	454	631	2,798	1,950	14	
		%	100.0	0.2	7.7	10.8	47.7	33.3	0.2	
	30歳代	人	2,604	10	316	269	1,282	718	9	
		%	100.0	0.4	12.1	10.3	49.2	27.6	0.3	
	40歳代	人	1,220	17	301	140	562	193	7	
		%	100.0	1.4	24.7	11.5	46.1	15.8	0.6	
	50歳代	人	670	9	245	84	255	71	6	
		%	100.0	1.3	36.6	12.5	38.1	10.6	0.9	
	60歳代以上	人	13	-	7	1	3	2	-	
		%	100.0	-	53.8	7.7	23.1	15.4	-	
無回答	人	186	2	25	28	84	45	2		
	%	100.0	1.1	13.4	15.1	45.2	24.2	1.1		
地域別	北海道	人	715	1	88	46	316	262	2	
		%	100.0	0.1	12.3	6.4	44.2	36.6	0.3	
	東北	人	1,043	4	130	124	534	243	8	
		%	100.0	0.4	12.5	11.9	51.2	23.3	0.8	
	関東	人	1,639	19	258	156	693	507	6	
		%	100.0	1.2	15.7	9.5	42.3	30.9	0.4	
	東京	人	1,076	4	104	124	522	317	5	
		%	100.0	0.4	9.7	11.5	48.5	29.5	0.5	
	中部	人	1,305	5	179	137	603	380	1	
		%	100.0	0.4	13.7	10.5	46.2	29.1	0.1	
	関西	人	1,446	9	218	179	716	315	9	
		%	100.0	0.6	15.1	12.4	49.5	21.8	0.6	
中国・四国	人	1,356	5	134	131	560	522	4		
	%	100.0	0.4	9.9	9.7	41.3	38.5	0.3		
九州	人	1,980	5	238	258	1,041	435	3		
	%	100.0	0.3	12.0	13.0	52.6	22.0	0.2		
機関別	大学病院	人	9,580	47	1,182	1,015	4,468	2,831	37	
		%	100.0	0.5	12.3	10.6	46.6	29.6	0.4	
	国立	人	4,144	12	465	379	1,883	1,393	12	
		%	100.0	0.3	11.2	9.1	45.4	33.6	0.3	
		公立	人	1,293	2	141	115	642	381	12
			%	100.0	0.2	10.9	8.9	49.7	29.5	0.9
	私立	人	4,143	33	576	521	1,943	1,057	13	
		%	100.0	0.8	13.9	12.6	46.9	25.5	0.3	
	社会保険病院	人	980	5	167	140	517	150	1	
		%	100.0	0.5	17.0	14.3	52.8	15.3	0.1	

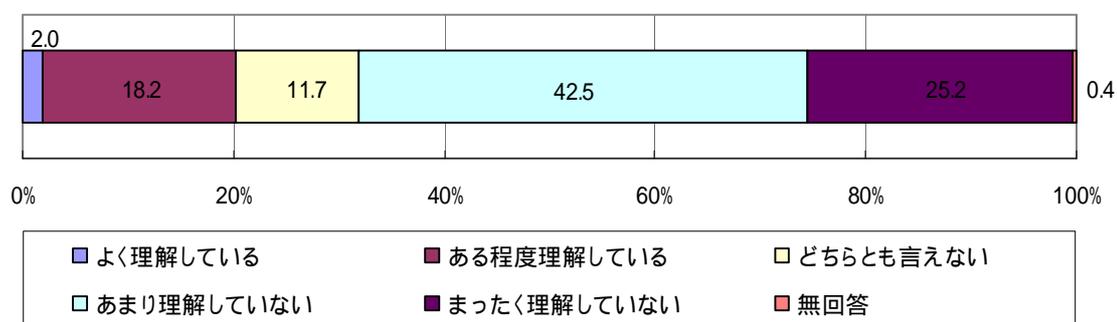
(2) DPC の包括の範囲についての理解度

全体傾向

DPC の包括の範囲については、「あまり理解していない」(42.5%)という回答が4割強を占める。「まったく理解していない」(25.2%)という回答をあわせると、7割近くの職員が十分には理解していないという結果となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく理解している」(5.3%)と「ある程度理解している」(40.4%)をあわせ、5割近くが理解していると回答している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(47.2%)、「まったく理解していない」(31.7%)という回答で8割近くを占めており、DPC の包括の範囲に対する理解度は非常に低くなっており、包括の範囲についても医師と看護師の間で理解度に大きな差が見られる。



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全 体	人	15,154	298	2,761	1,777	6,447	3,817	54
	%	100.0	2.0	18.2	11.7	42.5	25.2	0.4
職制別	医師	4,264	239	1,724	581	1,318	393	9
	%	100.0	5.6	40.4	13.6	30.9	9.2	0.2
看護師	人	10,560	46	982	1,152	4,988	3,352	40
	%	100.0	0.4	9.3	10.9	47.2	31.7	0.4
無回答	人	330	13	55	44	141	72	5
	%	100.0	3.9	16.7	13.3	42.7	21.8	1.5

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、「ある程度理解している」という回答は男性が女性を14.9ポイント上回っているのに対し、「あまり理解していない」という回答は女性が男性を12.0ポイント上回っており、男性と女性の間での理解度に差が見られる。

イ．年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(41.3%)、「まったく理解していない」(19.9%)をあわせて、6割以上が理解していないと回答している。一方で、40歳代では53.4%、50歳代では56.2%、60歳代では66.7%が「ある程度理解している」と回答しており、DPC の包括の範囲についても年代が上がるほど理解度が高くなる傾向が見られる。

ウ．地域別

地域別でみると、北海道および関西で「ある程度理解している」という回答がやや多いが、回答傾

向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、社会保険病院では「よく理解している」(14.0%)、「ある程度理解している」(51.9%)をあわせ7割近くが理解していると回答しており、社会保険病院の方が大学病院よりも理解度が高くなっている。

また、国・公・私立の別では、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答		
医 師	人	4,264	239	1,724	581	1,318	393	9		
	%	100.0	5.6	40.4	13.6	30.9	9.2	0.2		
性別	男性	人	3,669	230	1,560	487	1,074	311	7	
		%	100.0	6.3	42.5	13.3	29.3	8.5	0.2	
	女性	人	584	8	161	91	241	81	2	
		%	100.0	1.4	27.6	15.6	41.3	13.9	0.3	
無回答		人	11	1	3	3	1	-		
		%	100.0	9.1	27.3	27.3	27.3	9.1	-	
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-	-	
		%	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	人	523	10	110	82	216	104	1	
		%	100.0	1.9	21.0	15.7	41.3	19.9	0.2	
	30歳代	人	2,033	79	702	313	732	203	4	
		%	100.0	3.9	34.5	15.4	36.0	10.0	0.2	
	40歳代	人	1,254	115	670	141	268	56	4	
		%	100.0	9.2	53.4	11.2	21.4	4.5	0.3	
	50歳代	人	276	23	155	26	60	12	-	
		%	100.0	8.3	56.2	9.4	21.7	4.3	-	
60歳代以上	人	51	5	34	1	10	1	-		
	%	100.0	9.8	66.7	2.0	19.6	2.0	-		
無回答		人	127	7	53	18	32	17	-	
		%	100.0	5.5	41.7	14.2	25.2	13.4	-	
地域別	北海道	人	419	20	187	53	127	31	1	
		%	100.0	4.8	44.6	12.6	30.3	7.4	0.2	
	東北	人	426	21	163	66	130	46	-	
		%	100.0	4.9	38.3	15.5	30.5	10.8	-	
	関東	人	628	46	264	78	180	59	1	
		%	100.0	7.3	42.0	12.4	28.7	9.4	0.2	
	東京	人	415	21	153	58	147	36	-	
		%	100.0	5.1	36.9	14.0	35.4	8.7	-	
	中部	人	426	26	176	54	121	49	-	
		%	100.0	6.1	41.3	12.7	28.4	11.5	-	
	関西	人	462	30	204	56	125	46	1	
		%	100.0	6.5	44.2	12.1	27.1	10.0	0.2	
	中国・四国	人	593	33	226	68	197	67	2	
		%	100.0	5.6	38.1	11.5	33.2	11.3	0.3	
九州	人	890	42	349	147	290	58	4		
	%	100.0	4.7	39.2	16.5	32.6	6.5	0.4		
無回答		人	5	-	2	1	1	-		
		%	100.0	-	40.0	20.0	20.0	-		
機関別	大学病院	人	4,130	221	1,655	565	1,292	388	9	
		%	100.0	5.4	40.1	13.7	31.3	9.4	0.2	
	国立	人	2,277	113	900	282	741	235	6	
		%	100.0	5.0	39.5	12.4	32.5	10.3	0.3	
	公立	人	427	23	183	65	123	32	1	
		%	100.0	5.4	42.9	15.2	28.8	7.5	0.2	
	私立	人	1,426	85	572	218	428	121	2	
		%	100.0	6.0	40.1	15.3	30.0	8.5	0.1	
	社会保険病院		人	129	18	67	15	25	4	-
			%	100.0	14.0	51.9	11.6	19.4	3.1	-
無回答		人	5	-	2	1	1	-		
		%	100.0	-	40.0	20.0	20.0	-		

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、男性の方が「どちらとも言えない」という回答が多く、女性の方が「あまり理解し

ていない」という回答が多くなっているが、理解度という点では大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(47.1%)、「まったく理解していない」(37.5%)をあわせて、8割以上が理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で19.2%、50歳代で29.9%となっており、医師同様に、年代が上がるほど理解度が高くなる傾向が見られる。

ウ．地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院で比較すると、社会保険病院では「ある程度理解している」という回答が11.5%となっており、大学病院に比べるとややより理解度が高いが、大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別で比較すると、国立の場合「ある程度理解している」(7.6%)という回答がやや少なく、「まったく理解していない」(37.4%)という回答が多く、国立の大学病院の看護師の理解度がやや低い。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答	
看護師	人	10,560	46	982	1,152	4,988	3,352	40	
	%	100.0	0.4	9.3	10.9	47.2	31.7	0.4	
性別	男性	人	201	1	19	33	81	66	1
		%	100.0	0.5	9.5	16.4	40.3	32.8	0.5
	女性	人	10,319	40	952	1,115	4,894	3,279	39
		%	100.0	0.4	9.2	10.8	47.4	31.8	0.4
無回答	人	40	5	11	4	13	7	-	
%	100.0	12.5	27.5	10.0	32.5	17.5	-		
年代別	20歳未満	人	6	-	-	3	1	2	-
		%	100.0	-	-	50.0	16.7	33.3	-
	20歳代	人	5,861	14	287	590	2,758	2,197	15
		%	100.0	0.2	4.9	10.1	47.1	37.5	0.3
	30歳代	人	2,604	8	231	286	1,264	806	9
		%	100.0	0.3	8.9	11.0	48.5	31.0	0.3
	40歳代	人	1,220	13	234	158	588	220	7
		%	100.0	1.1	19.2	13.0	48.2	18.0	0.6
	50歳代	人	670	9	200	84	297	73	7
		%	100.0	1.3	29.9	12.5	44.3	10.9	1.0
60歳代以上	人	13	-	7	3	1	2	-	
	%	100.0	-	53.8	23.1	7.7	15.4	-	
無回答	人	186	2	23	28	79	52	2	
%	100.0	1.1	12.4	15.1	42.5	28.0	1.1		
地域別	北海道	人	715	3	80	51	329	250	2
		%	100.0	0.4	11.2	7.1	46.0	35.0	0.3
	東北	人	1,043	4	109	118	529	278	5
		%	100.0	0.4	10.5	11.3	50.7	26.7	0.5
	関東	人	1,639	17	161	173	677	608	3
		%	100.0	1.0	9.8	10.6	41.3	37.1	0.2
	東京	人	1,076	4	68	113	518	366	7
		%	100.0	0.4	6.3	10.5	48.1	34.0	0.7
	中部	人	1,305	4	109	142	580	467	3
		%	100.0	0.3	8.4	10.9	44.4	35.8	0.2
関西	人	1,446	6	180	177	740	335	8	
	%	100.0	0.4	12.4	12.2	51.2	23.2	0.6	
中国・四国	人	1,356	4	88	123	579	558	4	
	%	100.0	0.3	6.5	9.1	42.7	41.2	0.3	
九州	人	1,980	4	187	255	1,036	490	8	
	%	100.0	0.2	9.4	12.9	52.3	24.7	0.4	
機関別	大学病院	人	9,580	41	869	1,002	4,484	3,146	38
		%	100.0	0.4	9.1	10.5	46.8	32.8	0.4
	国立	人	4,144	11	316	362	1,896	1,551	8
		%	100.0	0.3	7.6	8.7	45.8	37.4	0.2
	公立	人	1,293	2	128	114	659	376	14
		%	100.0	0.2	9.9	8.8	51.0	29.1	1.1
	私立	人	4,143	28	425	526	1,929	1,219	16
		%	100.0	0.7	10.3	12.7	46.6	29.4	0.4
	社会保険病院	人	980	5	113	150	504	206	2
		%	100.0	0.5	11.5	15.3	51.4	21.0	0.2

診断群分類の理解度との関連

DPC の診断群分類についての理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類を理解している職員ほど、DPC の包括の範囲を理解しており、診断群分類の理解度と包括の範囲の理解度には非常に強い相関関係が見られる。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらとも言えない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全 体	人	15,154	298	2,761	1,777	6,447	3,817	54
	%	100.0	2.0	18.2	11.7	42.5	25.2	0.4
い D P C の 理 解 度 の 診 断 群 分 類 に つ いて (質 問 1 つ	よく理解している	人 328	216	92	3	15	2	-
		% 100.0	65.9	28.0	0.9	4.6	0.6	-
	ある程度理解している	人 3,432	75	2,120	490	666	74	7
		% 100.0	2.2	61.8	14.3	19.4	2.2	0.2
	どちらとも言えない	人 1,714	3	200	937	506	62	6
		% 100.0	0.2	11.7	54.7	29.5	3.6	0.4
	あまり理解していない	人 6,273	3	298	311	4,879	775	7
		% 100.0	0.0	4.8	5.0	77.8	12.4	0.1
	まったく理解していない	人 3,354	-	48	33	370	2,900	3
		% 100.0	-	1.4	1.0	11.0	86.5	0.1
無回答	人 53	1	3	3	11	4	31	
	% 100.0	1.9	5.7	5.7	20.8	7.5	58.5	

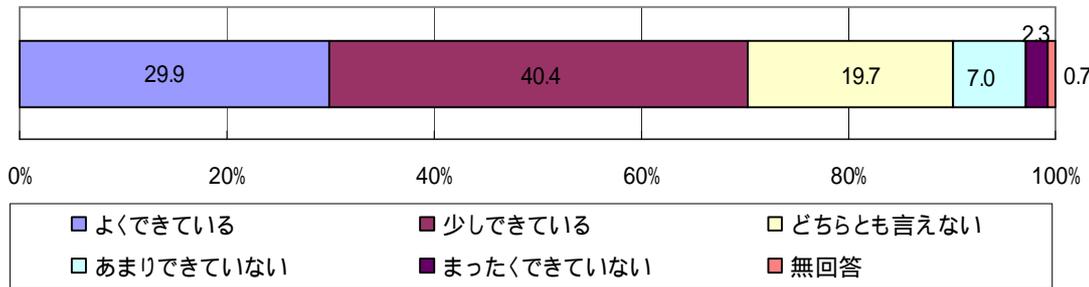
(3) 入院時の患者への説明状況

全体傾向

入院時の患者への説明については、「よくできている」(29.9%)、「少しできている」(40.4%)をあわせると7割強となっており、入院時の患者への説明に対しては高い自己評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よくできている」(59.2%)、「少しできている」(28.3%)をあわせ、9割近くができていると回答しており、非常に高い自己評価となっている。

一方で、看護師の場合は、「よくできている」(18.2%)、「少しできている」(45.2%)という回答は6割強にとどまり、医師と比べやや低い自己評価となっている。



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全 体	人	15,154	4,535	6,120	2,983	1,064	348	104
	%	100.0	29.9	40.4	19.7	7.0	2.3	0.7
職制別	医師	4,264	2,524	1,206	387	82	49	16
	%	100.0	59.2	28.3	9.1	1.9	1.1	0.4
	看護師	10,560	1,923	4,774	2,535	959	286	83
	%	100.0	18.2	45.2	24.0	9.1	2.7	0.8
無回答	人	330	88	140	61	23	13	5
%	100.0	26.7	42.4	18.5	7.0	3.9	1.5	

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、「よくできている」という回答は男性が女性を7.9ポイント上回っているのに対し、「少しできている」という回答は女性が男性を5.4ポイント上回っているが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、20歳代では「少しできている」(39.8%)、「どちらとも言えない」(12.6%)という回答が医師全体に比べ多いのに対し、40歳代では65.8%、50歳代では68.1%、60歳代では72.5%が「よくできている」と回答しており、年代が上がるほど自己評価が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院で比較すると、社会保険病院では「よくできている」という回答が68.2%あり、大学病院に比べ9.6ポイント高く、社会保険病院の医師の方が自己評価が高い。

また、国・公・私立の別での比較では、公立で「よくできている」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しかできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
医師	人	4,264	2,524	1,206	387	82	49	16	
	%	100.0	59.2	28.3	9.1	1.9	1.1	0.4	
性別	男性	人	3,669	2,213	1,010	323	72	37	14
		%	100.0	60.3	27.5	8.8	2.0	1.0	0.4
	女性	人	584	306	192	63	9	12	2
		%	100.0	52.4	32.9	10.8	1.5	2.1	0.3
	無回答	人	11	5	4	1	1	-	-
		%	100.0	45.5	36.4	9.1	9.1	-	-
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-	-
		%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	人	523	229	208	66	15	4	1
		%	100.0	43.8	39.8	12.6	2.9	0.8	0.2
	30歳代	人	2,033	1,170	597	195	39	28	4
		%	100.0	57.6	29.4	9.6	1.9	1.4	0.2
	40歳代	人	1,254	825	304	92	16	10	7
		%	100.0	65.8	24.2	7.3	1.3	0.8	0.6
	50歳代	人	276	188	52	20	10	2	4
		%	100.0	68.1	18.8	7.2	3.6	0.7	1.4
	60歳代以上	人	51	37	10	3	-	1	-
		%	100.0	72.5	19.6	5.9	-	2.0	-
	無回答	人	127	75	35	11	2	4	-
		%	100.0	59.1	27.6	8.7	1.6	3.1	-
地域別	北海道	人	419	256	111	36	7	7	2
		%	100.0	61.1	26.5	8.6	1.7	1.7	0.5
	東北	人	426	240	120	43	9	11	3
		%	100.0	56.3	28.2	10.1	2.1	2.6	0.7
	関東	人	628	384	175	59	6	3	1
		%	100.0	61.1	27.9	9.4	1.0	0.5	0.2
	東京	人	415	243	115	46	8	3	-
		%	100.0	58.6	27.7	11.1	1.9	0.7	-
	中部	人	426	248	115	45	8	9	1
		%	100.0	58.2	27.0	10.6	1.9	2.1	0.2
	関西	人	462	291	124	33	6	8	-
		%	100.0	63.0	26.8	7.1	1.3	1.7	-
	中国・四国	人	593	351	169	48	20	2	3
		%	100.0	59.2	28.5	8.1	3.4	0.3	0.5
九州	人	890	510	274	76	18	6	6	
	%	100.0	57.3	30.8	8.5	2.0	0.7	0.7	
無回答	人	5	1	3	1	-	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	2,435	1,170	381	80	49	15
		%	100.0	59.0	28.3	9.2	1.9	1.2	0.4
	国立	人	2,277	1,335	640	209	51	33	9
		%	100.0	58.6	28.1	9.2	2.2	1.4	0.4
	公立	人	427	265	119	34	5	3	1
		%	100.0	62.1	27.9	8.0	1.2	0.7	0.2
	私立	人	1,426	835	411	138	24	13	5
		%	100.0	58.6	28.8	9.7	1.7	0.9	0.4
	社会保険病院	人	129	88	33	5	2	-	1
		%	100.0	68.2	25.6	3.9	1.6	-	0.8
無回答	人	5	1	3	1	-	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、男性の方が「どちらとも言えない」という回答がやや多く、女性の方が「よくできている」、「少しかできている」という回答がやや多くなっているが、女性の方がやや自己評価が高くなっている。

イ．年代別

年代別でみると、「どちらとも言えない」という回答が20歳代で26.7%、30歳代で23.5%ある一

方で、「よくできている」という回答は40歳代で27.7%、50歳代で29.1%と回答割合が高くなっており、年代が上がるほど自己評価が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別で見ると、北海道および関西で「少しできている」という回答がやや多いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院の比較ならびに国・公・私立の別では、回答傾向に大きな差は見られない

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
看護師	人	10,560	1,923	4,774	2,535	959	286	83	
	%	100.0	18.2	45.2	24.0	9.1	2.7	0.8	
性別	男性	人	201	30	80	59	19	13	-
		%	100.0	14.9	39.8	29.4	9.5	6.5	-
	女性	人	10,319	1,884	4,678	2,466	936	272	83
		%	100.0	18.3	45.3	23.9	9.1	2.6	0.8
無回答		人	40	9	16	10	4	1	-
		%	100.0	22.5	40.0	25.0	10.0	2.5	-
年代別	20歳未満	人	6	-	2	2	2	-	-
		%	100.0	-	33.3	33.3	33.3	-	-
	20歳代	人	5,861	839	2,726	1,563	541	165	27
		%	100.0	14.3	46.5	26.7	9.2	2.8	0.5
	30歳代	人	2,604	509	1,136	613	248	78	20
		%	100.0	19.5	43.6	23.5	9.5	3.0	0.8
	40歳代	人	1,220	338	546	196	100	30	10
		%	100.0	27.7	44.8	16.1	8.2	2.5	0.8
	50歳代	人	670	195	287	108	51	9	20
%		100.0	29.1	42.8	16.1	7.6	1.3	3.0	
60歳代以上	人	13	2	6	3	-	-	2	
	%	100.0	15.4	46.2	23.1	-	-	15.4	
無回答		人	186	40	71	50	17	4	4
		%	100.0	21.5	38.2	26.9	9.1	2.2	2.2
地域別	北海道	人	715	173	332	120	69	18	3
		%	100.0	24.2	46.4	16.8	9.7	2.5	0.4
	東北	人	1,043	178	493	254	93	22	3
		%	100.0	17.1	47.3	24.4	8.9	2.1	0.3
	関東	人	1,639	270	785	404	130	38	12
		%	100.0	16.5	47.9	24.6	7.9	2.3	0.7
	東京	人	1,076	191	445	309	86	30	15
		%	100.0	17.8	41.4	28.7	8.0	2.8	1.4
	中部	人	1,305	196	593	339	118	48	11
		%	100.0	15.0	45.4	26.0	9.0	3.7	0.8
関西	人	1,446	359	592	309	138	36	12	
	%	100.0	24.8	40.9	21.4	9.5	2.5	0.8	
中国・四国	人	1,356	267	610	316	109	39	15	
	%	100.0	19.7	45.0	23.3	8.0	2.9	1.1	
九州	人	1,980	289	924	484	216	55	12	
	%	100.0	14.6	46.7	24.4	10.9	2.8	0.6	
機関別	大学病院	人	9,580	1,757	4,369	2,257	868	258	71
		%	100.0	18.3	45.6	23.6	9.1	2.7	0.7
	国立	人	4,144	736	1,903	967	379	122	37
		%	100.0	17.8	45.9	23.3	9.1	2.9	0.9
	公立	人	1,293	238	554	294	145	39	23
		%	100.0	18.4	42.8	22.7	11.2	3.0	1.8
	私立	人	4,143	783	1,912	996	344	97	11
		%	100.0	18.9	46.2	24.0	8.3	2.3	0.3
社会保険病院		人	980	166	405	278	91	28	12
		%	100.0	16.9	41.3	28.4	9.3	2.9	1.2

DPC の理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員ほど、入院時の患者への説明が「よくできている」という回答が多くなっており、DPC の理解度と入院時の説明に対する自己評価は高い相関性を持つという結果となっている。

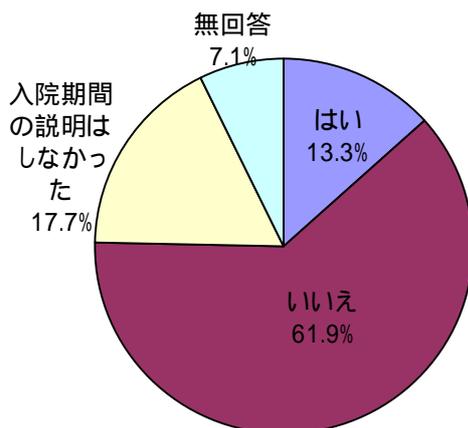
		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全 体	人	15,154	4,535	6,120	2,983	1,064	348	104
	%	100.0	29.9	40.4	19.7	7.0	2.3	0.7
い て の 理 解 度 の 診 断 群 分 類 (質 問 1) に つ	よく理解している	人 328	259	50	13	4	-	2
	%	100.0	79.0	15.2	4.0	1.2	-	0.6
	ある程度理解している	人 3,432	1,790	1,187	334	92	13	16
	%	100.0	52.2	34.6	9.7	2.7	0.4	0.5
	どちらとも言えない	人 1,714	437	742	470	43	11	11
	%	100.0	25.5	43.3	27.4	2.5	0.6	0.6
	あまり理解していない	人 6,273	1,395	2,769	1,434	548	92	35
	%	100.0	22.2	44.1	22.9	8.7	1.5	0.6
	まったく理解していない	人 3,354	640	1,363	722	372	231	26
	%	100.0	19.1	40.6	21.5	11.1	6.9	0.8
無回答	人 53	14	9	10	5	1	14	
%	100.0	26.4	17.0	18.9	9.4	1.9	26.4	
い て の 理 解 度 の 包 括 の 範 囲 (質 問 2) に つ	よく理解している	人 298	237	42	12	4	-	3
	%	100.0	79.5	14.1	4.0	1.3	-	1.0
	ある程度理解している	人 2,761	1,493	923	242	78	13	12
	%	100.0	54.1	33.4	8.8	2.8	0.5	0.4
	どちらとも言えない	人 1,777	508	761	448	41	8	11
	%	100.0	28.6	42.8	25.2	2.3	0.5	0.6
	あまり理解していない	人 6,447	1,540	2,842	1,429	527	80	29
	%	100.0	23.9	44.1	22.2	8.2	1.2	0.4
	まったく理解していない	人 3,817	745	1,543	845	410	247	27
	%	100.0	19.5	40.4	22.1	10.7	6.5	0.7
無回答	人 54	12	9	7	4	-	22	
%	100.0	22.2	16.7	13.0	7.4	-	40.7	

(4) 入院時の平均在院日数の利用状況

全体傾向

入院時の平均在院日数については、「はい(利用している)」(11.4%)、「いいえ(利用していない)」(61.9%)となっており、利用割合は非常に低い。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「いいえ(利用していない)」という回答が76.7%と非常に多く、説明はするが、平均在院日数を利用しないという傾向にある。一方で、看護師の場合は、「入院期間の説明はしなかった」という回答が22.2%と多い。



		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答	
全 体	人	15,154	2,011	9,387	2,679	1,077	
	%	100.0	13.3	61.9	17.7	7.1	
職制別	医師	人	4,264	543	3,272	274	175
		%	100.0	12.7	76.7	6.4	4.1
	看護師	人	10,560	1,431	5,915	2,347	867
		%	100.0	13.6	56.0	22.2	8.2
無回答	人	330	37	200	58	35	
	%	100.0	11.2	60.6	17.6	10.6	

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、回答傾向にはほとんど差が見られない。

イ．年代別

年代別でみると、「はい(利用している)」という回答は60歳代以上で31.4%、50歳代で22.8%となっているように、年代が上がるほど平均在院日数を利用する割合が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院で比較すると、「はい(利用している)」という回答割合は大学病院の方が社会保険病院に比べ5.1ポイント高く、平均入院日数の利用がやや多い。

また、国・公・私立の別での比較では、私立で「はい(利用している)」という回答が16.5%あり、

平均入院日数の利用がやや多い。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明 はしなかった	無回答	
医 師	人	4,264	543	3,272	274	175	
	%	100.0	12.7	76.7	6.4	4.1	
性別	男性	人	473	2,818	233	145	
		%	100.0	12.9	76.8	6.4	4.0
	女性	人	584	68	448	38	30
		%	100.0	11.6	76.7	6.5	5.1
	無回答	人	11	2	6	3	-
		%	100.0	18.2	54.5	27.3	-
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	
		%	-	-	-	-	
	20歳代	人	523	46	429	30	18
		%	100.0	8.8	82.0	5.7	3.4
	30歳代	人	2,033	235	1,594	128	76
		%	100.0	11.6	78.4	6.3	3.7
	40歳代	人	1,254	162	952	87	53
		%	100.0	12.9	75.9	6.9	4.2
	50歳代	人	276	63	179	18	16
		%	100.0	22.8	64.9	6.5	5.8
	60歳代以上	人	51	16	27	2	6
		%	100.0	31.4	52.9	3.9	11.8
	無回答	人	127	21	91	9	6
		%	100.0	16.5	71.7	7.1	4.7
地域別	北海道	人	419	53	327	27	12
		%	100.0	12.6	78.0	6.4	2.9
	東北	人	426	54	316	34	22
		%	100.0	12.7	74.2	8.0	5.2
	関東	人	628	84	499	27	18
		%	100.0	13.4	79.5	4.3	2.9
	東京	人	415	51	324	24	16
		%	100.0	12.3	78.1	5.8	3.9
	中部	人	426	35	332	37	22
		%	100.0	8.2	77.9	8.7	5.2
	関西	人	462	70	345	30	17
		%	100.0	15.2	74.7	6.5	3.7
	中国・四国	人	593	77	469	28	19
		%	100.0	13.0	79.1	4.7	3.2
	九州	人	890	118	657	66	49
		%	100.0	13.3	73.8	7.4	5.5
	無回答	人	5	1	3	1	-
		%	100.0	20.0	60.0	20.0	-
機関別	大学病院	人	4,130	532	3,163	267	168
		%	100.0	12.9	76.6	6.5	4.1
	国立	人	2,277	244	1,783	151	99
		%	100.0	10.7	78.3	6.6	4.3
	公立	人	427	53	340	24	10
		%	100.0	12.4	79.6	5.6	2.3
	私立	人	1,426	235	1,040	92	59
		%	100.0	16.5	72.9	6.5	4.1
	社会保険病院	人	129	10	106	6	7
		%	100.0	7.8	82.2	4.7	5.4
	無回答	人	5	1	3	1	-
%		100.0	20.0	60.0	20.0	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、50歳代で「はい(利用している)」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ．地域別

地域別でみると、関西で「はい(利用している)」という回答がやや多いのに対し、北海道では「いいえ(利用しない)」、東北では「入院期間の説明はしなかった」という回答がやや多くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院の比較では、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別では、私立で「はい(利用している)」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明 はしなかった	無回答	
看護師	人	10,560	1,431	5,915	2,347	867	
	%	100.0	13.6	56.0	22.2	8.2	
性別	男性	人	201	23	126	42	10
		%	100.0	11.4	62.7	20.9	5.0
	女性	人	10,319	1,398	5,771	2,297	853
		%	100.0	13.5	55.9	22.3	8.3
	無回答	人	40	10	18	8	4
		%	100.0	25.0	45.0	20.0	10.0
年代別	20歳未満	人	6	1	2	3	-
		%	100.0	16.7	33.3	50.0	-
	20歳代	人	5,861	775	3,299	1,406	381
		%	100.0	13.2	56.3	24.0	6.5
	30歳代	人	2,604	327	1,495	576	206
		%	100.0	12.6	57.4	22.1	7.9
	40歳代	人	1,220	174	711	211	124
		%	100.0	14.3	58.3	17.3	10.2
	50歳代	人	670	127	307	115	121
		%	100.0	19.0	45.8	17.2	18.1
	60歳代以上	人	13	1	3	1	8
		%	100.0	7.7	23.1	7.7	61.5
	無回答	人	186	26	98	35	27
		%	100.0	14.0	52.7	18.8	14.5
地域別	北海道	人	715	83	459	136	37
		%	100.0	11.6	64.2	19.0	5.2
	東北	人	1,043	108	567	302	66
		%	100.0	10.4	54.4	29.0	6.3
	関東	人	1,639	284	915	328	112
		%	100.0	17.3	55.8	20.0	6.8
	東京	人	1,076	121	587	242	126
		%	100.0	11.2	54.6	22.5	11.7
	中部	人	1,305	148	773	271	113
		%	100.0	11.3	59.2	20.8	8.7
	関西	人	1,446	269	759	312	106
		%	100.0	18.6	52.5	21.6	7.3
	中国・四国	人	1,356	196	774	241	145
		%	100.0	14.5	57.1	17.8	10.7
九州	人	1,980	222	1,081	515	162	
	%	100.0	11.2	54.6	26.0	8.2	
機関別	大学病院	人	9,580	1,278	5,402	2,144	756
		%	100.0	13.3	56.4	22.4	7.9
	国立	人	4,144	423	2,485	952	284
		%	100.0	10.2	60.0	23.0	6.9
	公立	人	1,293	143	724	284	142
		%	100.0	11.1	56.0	22.0	11.0
	私立	人	4,143	712	2,193	908	330
		%	100.0	17.2	52.9	21.9	8.0
	社会保険病院	人	980	153	513	203	111
		%	100.0	15.6	52.3	20.7	11.3

DPC の理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲について理解している職員ほど、「はい(利用している)」という回答が多くなっており、DPC に対する理解度と平均在院日数の利用との間には相関性が見られる。

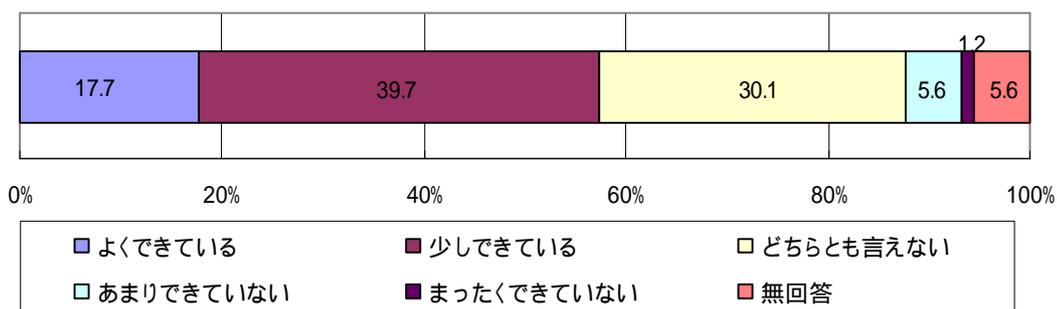
		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明 はしなかった	無回答
全 体	人	15,154	2,011	9,387	2,679	1,077
	%	100.0	13.3	61.9	17.7	7.1
DPC の 理 解 度 の 診 断 群 分 類 (質 問 1 に つ	よく理解して いる	328	98	193	22	15
	%	100.0	29.9	58.8	6.7	4.6
	ある程度理 解している	3,432	654	2,184	381	213
	%	100.0	19.1	63.6	11.1	6.2
	どちらとも言 えない	1,714	238	1,026	313	137
	%	100.0	13.9	59.9	18.3	8.0
	あまり理解し ていない	6,273	733	3,873	1,229	438
	%	100.0	11.7	61.7	19.6	7.0
	まったく理解 していない	3,354	283	2,089	724	258
	%	100.0	8.4	62.3	21.6	7.7
無回答	53	5	22	10	16	
%	100.0	9.4	41.5	18.9	30.2	
DPC の 理 解 度 の 包 括 の 範 囲 (質 問 2 に つ	よく理解して いる	298	86	170	22	20
	%	100.0	28.9	57.0	7.4	6.7
	ある程度理 解している	2,761	549	1,766	276	170
	%	100.0	19.9	64.0	10.0	6.2
	どちらとも言 えない	1,777	274	1,060	314	129
	%	100.0	15.4	59.7	17.7	7.3
	あまり理解し ていない	6,447	786	3,979	1,230	452
	%	100.0	12.2	61.7	19.1	7.0
	まったく理解 していない	3,817	309	2,392	829	287
	%	100.0	8.1	62.7	21.7	7.5
無回答	54	7	20	8	19	
%	100.0	13.0	37.0	14.8	35.2	

(5) 入院中の患者への計画的な医療内容の提供

全体傾向

入院中の患者への計画的な医療内容の提供については、「少しできている」という回答が 39.7%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」(30.1%)、「よくできている」(17.7%)の順に多い。できていないという回答は1割もなく、比較的高い自己評価である。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よくできている」という回答が37.4%で、看護師と比べ27.6ポイント高く、医師の方が看護師に比べ非常に高い自己評価となっている。



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全 体	人	15,154	2,682	6,017	4,559	852	188	856
	%	100.0	17.7	39.7	30.1	5.6	1.2	5.6
職制別	医師	4,264	1,595	1,684	683	95	41	166
	%	100.0	37.4	39.5	16.0	2.2	1.0	3.9
看護師	人	10,560	1,034	4,195	3,788	739	142	662
	%	100.0	9.8	39.7	35.9	7.0	1.3	6.3
無回答	人	330	53	138	88	18	5	28
	%	100.0	16.1	41.8	26.7	5.5	1.5	8.5

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、「よくできている」という回答は、60歳代以上で47.1%、50歳代で44.6%あるのに対し、20歳代では30.6%にとどまっており、年代があがるほど自己評価が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別でみると、関西で「よくできている」という回答がやや多いものの、回答傾向には大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、社会保険病院で「少しできている」という回答がやや多いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
医 師	人	4,264	1,595	1,684	683	95	41	166	
	%	100.0	37.4	39.5	16.0	2.2	1.0	3.9	
性別	男性	人	3,669	1,391	1,426	592	86	35	139
		%	100.0	37.9	38.9	16.1	2.3	1.0	3.8
	女性	人	584	200	254	88	9	6	27
		%	100.0	34.2	43.5	15.1	1.5	1.0	4.6
	無回答	人	11	4	4	3	-	-	-
		%	100.0	36.4	36.4	27.3	-	-	-
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-	-
		%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	人	523	160	237	95	11	1	19
		%	100.0	30.6	45.3	18.2	2.1	0.2	3.6
	30歳代	人	2,033	735	806	348	47	25	72
		%	100.0	36.2	39.6	17.1	2.3	1.2	3.5
	40歳代	人	1,254	508	480	182	24	10	50
		%	100.0	40.5	38.3	14.5	1.9	0.8	4.0
	50歳代	人	276	123	102	29	6	2	14
		%	100.0	44.6	37.0	10.5	2.2	0.7	5.1
	60歳代以上	人	51	24	14	6	1	-	6
		%	100.0	47.1	27.5	11.8	2.0	-	11.8
	無回答	人	127	45	45	23	6	3	5
		%	100.0	35.4	35.4	18.1	4.7	2.4	3.9
地域別	北海道	人	419	155	169	70	4	7	14
		%	100.0	37.0	40.3	16.7	1.0	1.7	3.3
	東北	人	426	141	157	89	13	4	22
		%	100.0	33.1	36.9	20.9	3.1	0.9	5.2
	関東	人	628	244	261	92	8	4	19
		%	100.0	38.9	41.6	14.6	1.3	0.6	3.0
	東京	人	415	157	153	75	12	2	16
		%	100.0	37.8	36.9	18.1	2.9	0.5	3.9
	中部	人	426	142	176	71	11	8	18
		%	100.0	33.3	41.3	16.7	2.6	1.9	4.2
	関西	人	462	206	163	62	10	8	13
		%	100.0	44.6	35.3	13.4	2.2	1.7	2.8
	中国・四国	人	593	244	246	73	10	3	17
		%	100.0	41.1	41.5	12.3	1.7	0.5	2.9
九州	人	890	305	356	150	27	5	47	
	%	100.0	34.3	40.0	16.9	3.0	0.6	5.3	
無回答	人	5	1	3	1	-	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	1,546	1,620	671	94	40	159
		%	100.0	37.4	39.2	16.2	2.3	1.0	3.8
	国立	人	2,277	857	877	377	49	23	94
		%	100.0	37.6	38.5	16.6	2.2	1.0	4.1
		人	427	171	173	57	13	4	9
		%	100.0	40.0	40.5	13.3	3.0	0.9	2.1
	私立	人	1,426	518	570	237	32	13	56
		%	100.0	36.3	40.0	16.6	2.2	0.9	3.9
	社会保険病院	人	129	48	61	11	1	1	7
		%	100.0	37.2	47.3	8.5	0.8	0.8	5.4
無回答	人	5	1	3	1	-	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、50歳代で「よくできている」という回答が、また40歳代、50歳代で「少しできている」という回答が他の年代に比べ多くなっており、大きな差ではないものの、年代があがるほど自己評価が高くなる傾向が見られる。

ウ．地域別

地域別でみると、北海道および関西で「よくできている」、「少しかできている」という回答がやや多いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院の間では回答傾向に大きな差は見られず、また、国・公・私立の別でも、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しかできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
看護師	人	10,560	1,034	4,195	3,788	739	142	662	
	%	100.0	9.8	39.7	35.9	7.0	1.3	6.3	
性別	男性	人	201	17	73	82	16	5	8
		%	100.0	8.5	36.3	40.8	8.0	2.5	4.0
	女性	人	10,319	1,008	4,106	3,695	722	137	651
		%	100.0	9.8	39.8	35.8	7.0	1.3	6.3
無回答		人	40	9	16	11	1	3	
		%	100.0	22.5	40.0	27.5	2.5	7.5	
年代別	20歳未満	人	6	-	3	3	-	-	-
		%	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	20歳代	人	5,861	497	2,302	2,318	384	65	295
		%	100.0	8.5	39.3	39.5	6.6	1.1	5.0
	30歳代	人	2,604	265	1,019	907	213	46	154
		%	100.0	10.2	39.1	34.8	8.2	1.8	5.9
	40歳代	人	1,220	151	513	340	90	18	108
		%	100.0	12.4	42.0	27.9	7.4	1.5	8.9
	50歳代	人	670	98	295	152	31	10	84
		%	100.0	14.6	44.0	22.7	4.6	1.5	12.5
60歳代以上	人	13	2	2	3	-	-	6	
	%	100.0	15.4	15.4	23.1	-	-	46.2	
無回答		人	186	21	61	65	21	15	
		%	100.0	11.3	32.8	34.9	11.3	8.1	
地域別	北海道	人	715	112	333	205	45	6	14
		%	100.0	15.7	46.6	28.7	6.3	0.8	2.0
	東北	人	1,043	98	385	402	84	17	57
		%	100.0	9.4	36.9	38.5	8.1	1.6	5.5
	関東	人	1,639	167	690	588	103	10	81
		%	100.0	10.2	42.1	35.9	6.3	0.6	4.9
	東京	人	1,076	96	365	414	78	26	97
		%	100.0	8.9	33.9	38.5	7.2	2.4	9.0
	中部	人	1,305	84	488	519	93	30	91
		%	100.0	6.4	37.4	39.8	7.1	2.3	7.0
関西	人	1,446	203	647	436	78	13	69	
	%	100.0	14.0	44.7	30.2	5.4	0.9	4.8	
中国・四国	人	1,356	129	540	459	100	11	117	
	%	100.0	9.5	39.8	33.8	7.4	0.8	8.6	
九州	人	1,980	145	747	765	158	29	136	
	%	100.0	7.3	37.7	38.6	8.0	1.5	6.9	
機関別	大学病院	人	9,580	941	3,841	3,417	690	122	569
		%	100.0	9.8	40.1	35.7	7.2	1.3	5.9
	国立	人	4,144	360	1,608	1,572	341	63	200
		%	100.0	8.7	38.8	37.9	8.2	1.5	4.8
	公立	人	1,293	134	511	424	100	27	97
		%	100.0	10.4	39.5	32.8	7.7	2.1	7.5
	私立	人	4,143	447	1,722	1,421	249	32	272
		%	100.0	10.8	41.6	34.3	6.0	0.8	6.6
	社会保険病院		人	980	93	354	371	49	93
			%	100.0	9.5	36.1	37.9	5.0	9.5

DPC の理解度との関連性

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲についての理解度が高いほど、「よくできている」という回答が多くなる傾向にあり、DPC に対する理解度と計画的な医療内容の提供の間には相関性が見られる。

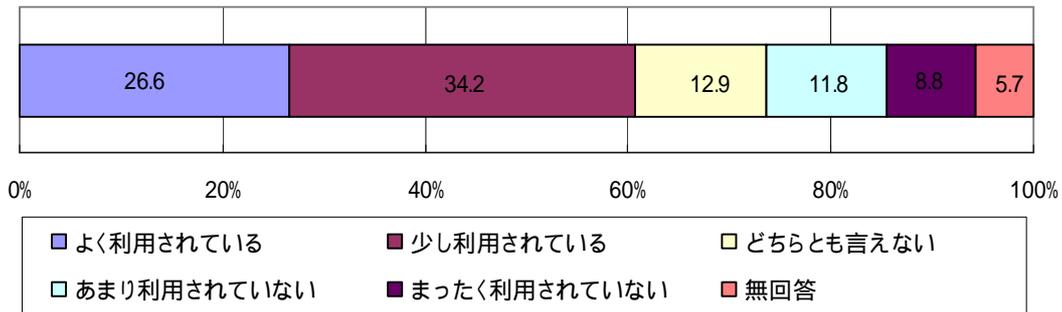
		サンプル数	よくできている	少しかできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体	人	15,154	2,682	6,017	4,559	852	188	856
	%	100.0	17.7	39.7	30.1	5.6	1.2	5.6
DPC の診断群分類について (質問 1)	よく理解している	人 328	195	91	18	8	-	16
	%	100.0	59.5	27.7	5.5	2.4	-	4.9
	ある程度理解している	人 3,432	1,105	1,521	531	82	15	178
	%	100.0	32.2	44.3	15.5	2.4	0.4	5.2
	どちらとも言えない	人 1,714	216	713	610	48	9	118
	%	100.0	12.6	41.6	35.6	2.8	0.5	6.9
	あまり理解していない	人 6,273	805	2,467	2,162	433	51	355
	%	100.0	12.8	39.3	34.5	6.9	0.8	5.7
	まったく理解していない	人 3,354	353	1,209	1,227	278	113	174
	%	100.0	10.5	36.0	36.6	8.3	3.4	5.2
無回答	人 53	8	16	11	3	-	15	
%	100.0	15.1	30.2	20.8	5.7	-	28.3	
DPC の包括の範囲について (質問 2)	よく理解している	人 298	169	88	13	6	1	21
	%	100.0	56.7	29.5	4.4	2.0	0.3	7.0
	ある程度理解している	人 2,761	963	1,185	396	69	7	141
	%	100.0	34.9	42.9	14.3	2.5	0.3	5.1
	どちらとも言えない	人 1,777	271	754	599	38	4	111
	%	100.0	15.3	42.4	33.7	2.1	0.2	6.2
	あまり理解していない	人 6,447	859	2,638	2,134	404	48	364
	%	100.0	13.3	40.9	33.1	6.3	0.7	5.6
	まったく理解していない	人 3,817	412	1,340	1,406	331	127	201
	%	100.0	10.8	35.1	36.8	8.7	3.3	5.3
無回答	人 54	8	12	11	4	1	18	
%	100.0	14.8	22.2	20.4	7.4	1.9	33.3	

(6) クリティカルパスの利用状況

全体傾向

クリティカルパスの利用状況は、「少し利用されている」という回答が34.2%でもっとも多い。「よく利用されている」(26.6%)という回答をあわせると、約6割の職員が利用していると回答しており、比較的高い自己評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師は看護師に比べ「あまり利用されていない」という回答が5.4ポイント、「まったく利用されていない」という回答が6.0ポイント上回っており、医師の方がクリティカルパスの利用度に対する自己評価がやや低くなっている。



		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらとも言えない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答	
全体	人	15,154	4,032	5,187	1,956	1,788	1,330	861	
	%	100.0	26.6	34.2	12.9	11.8	8.8	5.7	
職制別	医師	人	4,264	944	1,354	548	670	560	188
		%	100.0	22.1	31.8	12.9	15.7	13.1	4.4
	看護師	人	10,560	2,998	3,708	1,367	1,090	754	643
		%	100.0	28.4	35.1	12.9	10.3	7.1	6.1
無回答		人	330	90	125	41	28	16	30
		%	100.0	27.3	37.9	12.4	8.5	4.8	9.1

医師の傾向

ア．性別

性別で見ると、男性の方が「少し利用されている」という回答がやや多いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別で見ると、50歳代や60歳代以上で「少し利用されている」という回答割合がやや高いのに対し、20歳代から40歳代では「まったく利用されていない」という回答割合がやや高くなっており、大きくはないものの、年代による差が見られる。

ウ．地域別

地域別で見ると、関西で「よく利用されている」という回答割合が高いのが特徴的である。その他には、中国・四国や北海道で「まったく利用されていない」という回答割合がやや高いが大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、「よく利用されている」という回答割合は社会保険病院の方

が4.4ポイント高いのに対し、「まったく利用されていない」という回答割合は大学病院の方が5.5ポイント高く、社会保険病院の方がクリティカルパスの利用度に対する自己評価がやや高い。

また、国・公・私立の別でみると、公立および私立では「よく利用されている」という回答割合が国立の約2倍あるのに対し、国立の「まったく利用されていない」という回答割合は公立および私立の約2倍となっており、国立と公立・私立の間でのクリティカルパスの利用度に対する自己評価には大きな差が見られる。

		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらとも言えない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答	
医師	人	4,264	944	1,354	548	670	560	188	
	%	100.0	22.1	31.8	12.9	15.7	13.1	4.4	
性別	男性	人	3,669	816	1,182	453	572	490	156
		%	100.0	22.2	32.2	12.3	15.6	13.4	4.3
	女性	人	584	125	168	94	96	69	32
		%	100.0	21.4	28.8	16.1	16.4	11.8	5.5
	無回答	人	11	3	4	1	2	1	-
		%	100.0	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1	-
地域別	20歳代	人	523	112	142	92	86	64	27
		%	100.0	21.4	27.2	17.6	16.4	12.2	5.2
	30歳代	人	2,033	440	635	245	336	298	79
		%	100.0	21.6	31.2	12.1	16.5	14.7	3.9
	40歳代	人	1,254	292	408	160	182	161	51
		%	100.0	23.3	32.5	12.8	14.5	12.8	4.1
	50歳代	人	276	62	106	32	40	20	16
		%	100.0	22.5	38.4	11.6	14.5	7.2	5.8
	60歳代以上	人	51	10	20	3	10	2	6
		%	100.0	19.6	39.2	5.9	19.6	3.9	11.8
	無回答	人	127	28	43	16	16	15	9
		%	100.0	22.0	33.9	12.6	12.6	11.8	7.1
	北海道	人	419	75	109	70	74	70	21
		%	100.0	17.9	26.0	16.7	17.7	16.7	5.0
	東北	人	426	79	153	51	70	51	22
		%	100.0	18.5	35.9	12.0	16.4	12.0	5.2
	関東	人	628	176	192	72	76	92	20
		%	100.0	28.0	30.6	11.5	12.1	14.6	3.2
	東京	人	415	94	134	62	64	45	16
		%	100.0	22.7	32.3	14.9	15.4	10.8	3.9
	中部	人	426	68	148	53	67	66	24
		%	100.0	16.0	34.7	12.4	15.7	15.5	5.6
	関西	人	462	163	161	43	55	27	13
		%	100.0	35.3	34.8	9.3	11.9	5.8	2.8
中国・四国	人	593	109	168	77	112	108	19	
	%	100.0	18.4	28.3	13.0	18.9	18.2	3.2	
九州	人	890	179	286	120	151	101	53	
	%	100.0	20.1	32.1	13.5	17.0	11.3	6.0	
無回答	人	5	1	3	-	1	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	-	20.0	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	909	1,306	529	656	550	180
		%	100.0	22.0	31.6	12.8	15.9	13.3	4.4
	国立	人	2,277	375	679	335	402	376	110
		%	100.0	16.5	29.8	14.7	17.7	16.5	4.8
	公立	人	427	127	154	43	58	34	11
		%	100.0	29.7	36.1	10.1	13.6	8.0	2.6
	私立	人	1,426	407	473	151	196	140	59
		%	100.0	28.5	33.2	10.6	13.7	9.8	4.1
	社会保険病院	人	129	34	45	19	13	10	8
		%	100.0	26.4	34.9	14.7	10.1	7.8	6.2
無回答	人	5	1	3	-	1	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	-	20.0	-	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、女性が男性に比べ「よく利用されている」という回答が7.1ポイント、「少し利用されている」という回答が7.6ポイント高く、女性の方がクリティカルパスの利用度に対する自己評価が高い。

イ．年代別

年代別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ．地域別

地域別でみると、関西で「よく利用されている」という回答が40.0%と高いのが特徴的である。その他には、九州で「よく利用されている」という回答が34.4%とやや高いものの、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、社会保険病院の方が「よく利用されている」という回答が8.5ポイント高く、社会保険病院の方がクリティカルパスの利用度に対する自己評価は高い。

また、国・公・私立の別でみると、国立で「よく利用されている」という回答が少なく、「まったく利用されていない」という回答が多くなっており、国立の大学病院では自己評価が低い。

		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらとも言えない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答	
看護師	人	10,560	2,998	3,708	1,367	1,090	754	643	
	%	100.0	28.4	35.1	12.9	10.3	7.1	6.1	
性別	男性	人	201	43	58	46	27	19	8
		%	100.0	21.4	28.9	22.9	13.4	9.5	4.0
	女性	人	10,319	2,939	3,642	1,314	1,058	733	633
		%	100.0	28.5	35.3	12.7	10.3	7.1	6.1
	無回答		人	40	16	8	7	5	2
		%	100.0	40.0	20.0	17.5	12.5	5.0	
年代別	20歳未満	人	6	2	2	2	-	-	-
		%	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	20歳代	人	5,861	1,702	2,033	865	553	357	351
		%	100.0	29.0	34.7	14.8	9.4	6.1	6.0
	30歳代	人	2,604	676	918	293	331	244	142
		%	100.0	26.0	35.3	11.3	12.7	9.4	5.5
	40歳代	人	1,220	358	443	123	123	91	82
		%	100.0	29.3	36.3	10.1	10.1	7.5	6.7
	50歳代	人	670	209	246	57	59	50	49
		%	100.0	31.2	36.7	8.5	8.8	7.5	7.3
60歳代以上	人	13	5	3	-	1	-	4	
	%	100.0	38.5	23.1	-	7.7	-	30.8	
無回答		人	186	46	63	27	23	12	
		%	100.0	24.7	33.9	14.5	12.4	6.5	
地域別	北海道	人	715	185	226	84	103	91	26
		%	100.0	25.9	31.6	11.7	14.4	12.7	3.6
	東北	人	1,043	237	444	121	120	71	50
		%	100.0	22.7	42.6	11.6	11.5	6.8	4.8
	関東	人	1,639	549	527	194	146	133	90
		%	100.0	33.5	32.2	11.8	8.9	8.1	5.5
	東京	人	1,076	238	343	183	126	94	92
		%	100.0	22.1	31.9	17.0	11.7	8.7	8.6
	中部	人	1,305	262	491	270	151	59	72
		%	100.0	20.1	37.6	20.7	11.6	4.5	5.5
	関西	人	1,446	579	525	98	118	64	62
%		100.0	40.0	36.3	6.8	8.2	4.4	4.3	
中国・四国	人	1,356	267	476	188	179	133	113	
	%	100.0	19.7	35.1	13.9	13.2	9.8	8.3	
九州	人	1,980	681	676	229	147	109	138	
	%	100.0	34.4	34.1	11.6	7.4	5.5	7.0	
機関別	大学病院	人	9,580	2,644	3,380	1,176	1,051	747	582
		%	100.0	27.6	35.3	12.3	11.0	7.8	6.1
	国立	人	4,144	871	1,413	626	535	475	224
		%	100.0	21.0	34.1	15.1	12.9	11.5	5.4
	公立	人	1,293	424	502	116	96	69	86
		%	100.0	32.8	38.8	9.0	7.4	5.3	6.7
	私立	人	4,143	1,349	1,465	434	420	203	272
%		100.0	32.6	35.4	10.5	10.1	4.9	6.6	
社会保険病院		人	980	354	328	191	39	61	
		%	100.0	36.1	33.5	19.5	4.0	0.7	

DPC の理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲についての理解度が高いほど、「よく利用されている」という回答が多くなっており、DPC の理解度とクリティカルパスの利用度の間には相関性が見られる。

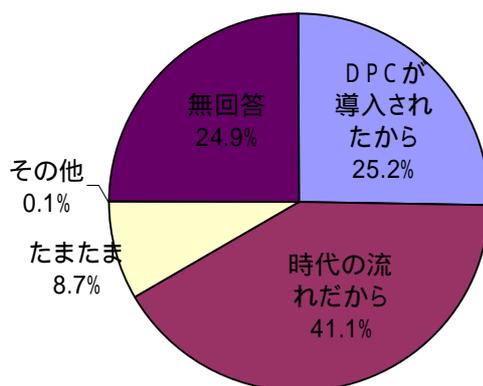
		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらとも言えない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
全体	人	15,154	4,032	5,187	1,956	1,788	1,330	861
	%	100.0	26.6	34.2	12.9	11.8	8.8	5.7
DPC の診断群分類について (質問 1)	よく理解している	328	135	92	23	29	36	13
	%	100.0	41.2	28.0	7.0	8.8	11.0	4.0
	ある程度理解している	3,432	1,073	1,147	345	409	289	169
	%	100.0	31.3	33.4	10.1	11.9	8.4	4.9
	どちらとも言えない	1,714	445	613	277	174	88	117
	%	100.0	26.0	35.8	16.2	10.2	5.1	6.8
	あまり理解していない	6,273	1,623	2,158	808	804	529	351
	%	100.0	25.9	34.4	12.9	12.8	8.4	5.6
	まったく理解していない	3,354	745	1,170	494	362	381	202
	%	100.0	22.2	34.9	14.7	10.8	11.4	6.0
無回答	53	11	7	9	10	7	9	
%	100.0	20.8	13.2	17.0	18.9	13.2	17.0	
DPC の包括の範囲について (質問 2)	よく理解している	298	110	100	25	29	17	17
	%	100.0	36.9	33.6	8.4	9.7	5.7	5.7
	ある程度理解している	2,761	859	947	258	325	244	128
	%	100.0	31.1	34.3	9.3	11.8	8.8	4.6
	どちらとも言えない	1,777	497	605	281	192	94	108
	%	100.0	28.0	34.0	15.8	10.8	5.3	6.1
	あまり理解していない	6,447	1,711	2,219	825	809	526	357
	%	100.0	26.5	34.4	12.8	12.5	8.2	5.5
	まったく理解していない	3,817	843	1,306	561	425	444	238
	%	100.0	22.1	34.2	14.7	11.1	11.6	6.2
無回答	54	12	10	6	8	5	13	
%	100.0	22.2	18.5	11.1	14.8	9.3	24.1	

(7) クリティカルパスの利用が変化している理由

全体傾向

クリティカルパスの利用が変化している理由については、「時代の流れだから」という回答が41.1%と多く、次いで「DPCが導入されたから」(25.2%)の順となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「時代の流れだから」という回答が多くなるのに対し、看護師の場合は「DPCが導入されたから」という回答が多くなり、看護師の方がDPC導入との関連をより強く感じている。



		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	その他	無回答
全 体	人	15,154	3,815	6,234	1,324	12	3,769
	%	100.0	25.2	41.1	8.7	0.1	24.9
職 制 別	医師	4,264	743	1,977	397	5	1,142
	%	100.0	17.4	46.4	9.3	0.1	26.8
	看護師	10,560	2,982	4,127	896	7	2,548
	%	100.0	28.2	39.1	8.5	0.1	24.1
無回答	人	330	90	130	31	-	79
%	100.0	27.3	39.4	9.4	-	-	23.9

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、男性で「時代の流れだから」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、「DPCが導入されたから」という回答が50歳代で37.3%、40歳代で25.0%となっており、年代が上がるほどDPC導入との関連性を感じていることがうかがわれる。

ウ．地域別

地域別にみると、関東および関西で「DPCが導入されたから」という回答がやや多く、東京では「時代の流れだから」という回答がやや多いが、それほど大きな地域差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比べると、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、私立で「DPC が導入されたから」という回答が 24.0%あり、国立・公立に比べDPCの影響を強く感じていることがうかがわれる。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	その他	無回答	
医師	人	4,264	743	1,977	397	5	1,142	
	%	100.0	17.4	46.4	9.3	0.1	26.8	
性別	男性	人	3,669	634	1,734	334	4	963
		%	100.0	17.3	47.3	9.1	0.1	26.2
	女性	人	584	105	238	63	1	177
		%	100.0	18.0	40.8	10.8	0.2	30.3
	無回答	人	11	4	5	-	-	2
		%	100.0	36.4	45.5	-	-	18.2
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-
		%	-	-	-	-	-	-
	20歳代	人	523	79	233	79	1	131
		%	100.0	15.1	44.6	15.1	0.2	25.0
	30歳代	人	2,033	305	976	209	1	542
		%	100.0	15.0	48.0	10.3	0.0	26.7
	40歳代	人	1,254	249	576	85	2	342
		%	100.0	19.9	45.9	6.8	0.2	27.3
	50歳代	人	276	69	118	12	-	77
		%	100.0	25.0	42.8	4.3	-	27.9
60歳代以上	人	51	19	18	2	-	12	
	%	100.0	37.3	35.3	3.9	-	23.5	
無回答	人	127	22	56	10	1	38	
	%	100.0	17.3	44.1	7.9	0.8	29.9	
地域別	北海道	人	419	70	169	48	-	132
		%	100.0	16.7	40.3	11.5	-	31.5
	東北	人	426	59	210	47	-	110
		%	100.0	13.8	49.3	11.0	-	25.8
	関東	人	628	156	251	66	-	155
		%	100.0	24.8	40.0	10.5	-	24.7
	東京	人	415	55	233	36	1	90
		%	100.0	13.3	56.1	8.7	0.2	21.7
	中部	人	426	51	190	37	-	148
		%	100.0	12.0	44.6	8.7	-	34.7
	関西	人	462	116	243	27	-	76
		%	100.0	25.1	52.6	5.8	-	16.5
	中国・四国	人	593	97	270	46	4	176
		%	100.0	16.4	45.5	7.8	0.7	29.7
九州	人	890	138	408	89	-	255	
	%	100.0	15.5	45.8	10.0	-	28.7	
無回答	人	5	1	3	1	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	725	1,919	391	5	1,090
		%	100.0	17.6	46.5	9.5	0.1	26.4
	国立	人	2,277	300	1,044	227	5	701
		%	100.0	13.2	45.8	10.0	0.2	30.8
	公立	人	427	83	238	29	-	77
		%	100.0	19.4	55.7	6.8	-	18.0
	私立	人	1,426	342	637	135	-	312
		%	100.0	24.0	44.7	9.5	-	21.9
	社会保険病院	人	129	17	55	5	-	52
		%	100.0	13.2	42.6	3.9	-	40.3
無回答	人	5	1	3	1	-	-	
	%	100.0	20.0	60.0	20.0	-	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、女性が男性と比べ「DPC が導入されたから」という回答が 7.5 ポイント高く、DPC の影響を強く感じている。

イ．年代別

年代別でみると、40 歳代までの年代では「時代の流れだから」という回答が「DPC が導入された

から」という回答を大きく上回っているのに対し、50歳代では「DPCが導入されたから」という回答が34.2%あり、「時代の流れだから」という回答割合を上回っているのが特徴的である。

ウ．地域別

地域別でみると、関西では「DPCが導入されたから」という回答が42.3%あり、「時代の流れだから」という回答を上回っているのが特徴的である。その他の地域については、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比べると、回答傾向に大きな差は見られない。

一方、国・公・私立の別でみると、公立および私立は、国立に比べ「DPCが導入されたから」という回答割合が高く、DPC導入の影響を強く感じていることがうかがわれる。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	その他	無回答	
看護師	人	10,560	2,982	4,127	896	7	2,548	
	%	100.0	28.2	39.1	8.5	0.1	24.1	
性別	男性	人	42	86	25	-	48	
		%	100.0	20.9	42.8	12.4	-	23.9
	女性	人	10,319	2,932	4,024	867	6	2,490
		%	100.0	28.4	39.0	8.4	0.1	24.1
無回答	人	40	8	17	4	1	10	
	%	100.0	20.0	42.5	10.0	2.5	25.0	
年代別	20歳未満	人	6	2	2	1	-	1
		%	100.0	33.3	33.3	16.7	-	16.7
	20歳代	人	5,861	1,732	2,274	550	1	1,304
		%	100.0	29.6	38.8	9.4	0.0	22.2
	30歳代	人	2,604	655	1,094	215	-	640
		%	100.0	25.2	42.0	8.3	-	24.6
	40歳代	人	1,220	321	482	69	5	343
		%	100.0	26.3	39.5	5.7	0.4	28.1
	50歳代	人	670	229	215	42	-	184
		%	100.0	34.2	32.1	6.3	-	27.5
60歳代以上	人	13	5	2	1	-	5	
	%	100.0	38.5	15.4	7.7	-	38.5	
無回答	人	186	38	58	18	1	71	
%	100.0	20.4	31.2	9.7	0.5	38.2		
地域別	北海道	人	715	140	295	66	-	214
		%	100.0	19.6	41.3	9.2	-	29.9
	東北	人	1,043	259	442	87	1	254
		%	100.0	24.8	42.4	8.3	0.1	24.4
	関東	人	1,639	445	633	168	1	392
		%	100.0	27.2	38.6	10.3	0.1	23.9
	東京	人	1,076	281	383	112	-	300
		%	100.0	26.1	35.6	10.4	-	27.9
	中部	人	1,305	263	502	159	1	380
		%	100.0	20.2	38.5	12.2	0.1	29.1
関西	人	1,446	612	539	79	1	215	
	%	100.0	42.3	37.3	5.5	0.1	14.9	
中国・四国	人	1,356	388	495	91	1	381	
	%	100.0	28.6	36.5	6.7	0.1	28.1	
九州	人	1,980	594	838	134	2	412	
	%	100.0	30.0	42.3	6.8	0.1	20.8	
機関別	大学病院	人	9,580	2,710	3,740	792	4	2,334
		%	100.0	28.3	39.0	8.3	0.0	24.4
	国立	人	4,144	800	1,702	407	4	1,231
		%	100.0	19.3	41.1	9.8	0.1	29.7
	公立	人	1,293	417	515	76	-	285
		%	100.0	32.3	39.8	5.9	-	22.0
	私立	人	4,143	1,493	1,523	309	-	818
		%	100.0	36.0	36.8	7.5	-	19.7
	社会保険病院	人	980	272	387	104	3	214
		%	100.0	27.8	39.5	10.6	0.3	21.8

DPC の理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲を「まったく理解していない」職員では「DPC が導入されたから」という回答は極端に少なくなっている。

ただ、その他をみると、回答傾向に大きな差は見られず、DPC の理解度とクリティカルパス利用の変化の理由との間には相関性は見られない。

		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	その他	無回答	
全 体	人	15,154	3,815	6,234	1,324	12	3,769	
	%	100.0	25.2	41.1	8.7	0.1	24.9	
DPCの理解度の診断群分類(質問1につ	よく理解している	人	328	90	147	18	-	73
		%	100.0	27.4	44.8	5.5	-	22.3
	ある程度理解している	人	3,432	995	1,404	265	4	764
		%	100.0	29.0	40.9	7.7	0.1	22.3
	どちらとも言えない	人	1,714	490	701	164	2	357
		%	100.0	28.6	40.9	9.6	0.1	20.8
	あまり理解していない	人	6,273	1,722	2,485	514	4	1,548
		%	100.0	27.5	39.6	8.2	0.1	24.7
	まったく理解していない	人	3,354	508	1,481	359	1	1,005
		%	100.0	15.1	44.2	10.7	0.0	30.0
無回答	人	53	10	16	4	1	22	
	%	100.0	18.9	30.2	7.5	1.9	41.5	
DPCの包括の範囲(質問2につ	よく理解している	人	298	81	129	22	-	66
		%	100.0	27.2	43.3	7.4	-	22.1
	ある程度理解している	人	2,761	797	1,140	210	3	611
		%	100.0	28.9	41.3	7.6	0.1	22.1
	どちらとも言えない	人	1,777	514	735	163	2	363
		%	100.0	28.9	41.4	9.2	0.1	20.4
	あまり理解していない	人	6,447	1,774	2,544	535	3	1,591
		%	100.0	27.5	39.5	8.3	0.0	24.7
	まったく理解していない	人	3,817	640	1,669	389	4	1,115
		%	100.0	16.8	43.7	10.2	0.1	29.2
無回答	人	54	9	17	5	-	23	
	%	100.0	16.7	31.5	9.3	-	42.6	

クリティカルパスの利用状況との関連

クリティカルパスの利用状況との関連性をみると、クリティカルパスが「よく利用されている」と回答した職員では、「DPC が導入されたから」という回答が 40.1%あるのに代表されるように、クリティカルパスの利用度が高いほど、DPC の導入による影響が大きいと感じている職員が多い。

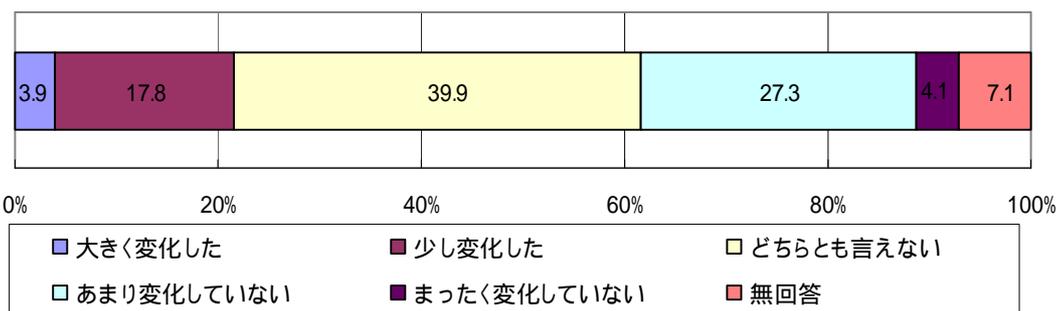
		サンプル数	DPCが導入されたから	時代の流れだから	たまたま	その他	無回答	
全 体	人	15,154	3,815	6,234	1,324	12	3,769	
	%	100.0	25.2	41.1	8.7	0.1	24.9	
クリティカルパスの利用状況(問6)	よく利用されている	人	4,032	1,616	1,847	248	6	315
		%	100.0	40.1	45.8	6.2	0.1	7.8
	少し利用されている	人	5,187	1,471	2,828	478	3	407
		%	100.0	28.4	54.5	9.2	0.1	7.8
	どちらとも言えない	人	1,956	340	665	215	-	736
		%	100.0	17.4	34.0	11.0	-	37.6
	あまり利用されていない	人	1,788	261	597	274	1	655
		%	100.0	14.6	33.4	15.3	0.1	36.6
	まったく利用されていない	人	1,330	122	284	106	2	816
		%	100.0	9.2	21.4	8.0	0.2	61.4
無回答	人	861	5	13	3	-	840	
	%	100.0	0.6	1.5	0.3	-	97.6	

(8) DPC 導入後の医療内容の変化

全体傾向

DPC 導入後の医療内容の変化については、「どちらとも言えない」という回答が 39.9%と最も多く、「あまり変化していない」(27.3%)、「少し変化した」(17.8%)の順に多い。「大きく変化した」(3.9%)、「少し変化した」(17.8%)をあわせ約 2 割の職員が、DPC 導入による医療内容の変化を感じている。

医師と看護師を比較すると、医師の方が看護師と比べると「大きく変化した」、「少し変化した」という回答がやや多いが、一方で「あまり変化していない」という回答も多く、医師と看護師の間で大きな差は見られない。



		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらとも言えない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答	
全 体	人	15,154	590	2,696	6,039	4,132	625	1,072	
	%	100.0	3.9	17.8	39.9	27.3	4.1	7.1	
職制別	医師	人	4,264	199	872	1,147	1,524	338	184
		%	100.0	4.7	20.5	26.9	35.7	7.9	4.3
	看護師	人	10,560	375	1,761	4,766	2,528	281	849
		%	100.0	3.6	16.7	45.1	23.9	2.7	8.0
無回答		人	330	16	63	126	80	6	39
		%	100.0	4.8	19.1	38.2	24.2	1.8	11.8

医師の傾向

ア．性別

性別でみると、男性の方が「少し変化した」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、若い年代ほど「どちらとも言えない」という回答が多く、年代が上がるほど「少し変化した」という回答が多くなっており、年代が上がるほど DPC 導入後の医療内容の変化を感じている。

ウ．地域別

地域別でみると、関東で「少し変化した」という回答がやや多く、中国・四国で「あまり変化していない」という回答がやや多いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、社会保険病院で「あまり変化していない」という回答が多くなっているが、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、公立、私立で「少し変化した」という回答が国立に比べてやや多いが、ここでもそれほど大きな差は見られない。

		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらとも言えない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答	
医師	人	4,264	199	872	1,147	1,524	338	184	
	%	100.0	4.7	20.5	26.9	35.7	7.9	4.3	
性別	男性	人	3,669	180	777	951	1,311	299	151
		%	100.0	4.9	21.2	25.9	35.7	8.1	4.1
	女性	人	584	18	91	195	209	38	33
		%	100.0	3.1	15.6	33.4	35.8	6.5	5.7
	無回答	人	11	1	4	1	4	1	-
		%	100.0	9.1	36.4	9.1	36.4	9.1	-
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-	-
		%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	人	523	20	87	203	157	27	29
		%	100.0	3.8	16.6	38.8	30.0	5.2	5.5
	30歳代	人	2,033	76	356	577	768	179	77
		%	100.0	3.7	17.5	28.4	37.8	8.8	3.8
	40歳代	人	1,254	74	313	267	450	100	50
		%	100.0	5.9	25.0	21.3	35.9	8.0	4.0
	50歳代	人	276	13	73	54	102	21	13
		%	100.0	4.7	26.4	19.6	37.0	7.6	4.7
	60歳代以上	人	51	4	18	10	15	-	4
		%	100.0	7.8	35.3	19.6	29.4	-	7.8
	無回答	人	127	12	25	36	32	11	11
		%	100.0	9.4	19.7	28.3	25.2	8.7	8.7
地域別	北海道	人	419	18	92	112	150	31	16
		%	100.0	4.3	22.0	26.7	35.8	7.4	3.8
	東北	人	426	20	78	121	152	34	21
		%	100.0	4.7	18.3	28.4	35.7	8.0	4.9
	関東	人	628	37	154	162	203	51	21
		%	100.0	5.9	24.5	25.8	32.3	8.1	3.3
	東京	人	415	17	82	113	145	40	18
		%	100.0	4.1	19.8	27.2	34.9	9.6	4.3
	中部	人	426	18	79	104	162	42	21
		%	100.0	4.2	18.5	24.4	38.0	9.9	4.9
	関西	人	462	25	95	119	175	32	16
		%	100.0	5.4	20.6	25.8	37.9	6.9	3.5
	中国・四国	人	593	26	100	159	234	51	23
		%	100.0	4.4	16.9	26.8	39.5	8.6	3.9
九州	人	890	38	190	257	300	57	48	
	%	100.0	4.3	21.3	28.9	33.7	6.4	5.4	
無回答	人	5	-	2	-	3	-	-	
	%	100.0	-	40.0	-	60.0	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	195	841	1,125	1,464	329	176
		%	100.0	4.7	20.4	27.2	35.4	8.0	4.3
	国立	人	2,277	89	413	622	830	215	108
		%	100.0	3.9	18.1	27.3	36.5	9.4	4.7
	公立	人	427	25	101	105	157	28	11
		%	100.0	5.9	23.7	24.6	36.8	6.6	2.6
	私立	人	1,426	81	327	398	477	86	57
		%	100.0	5.7	22.9	27.9	33.5	6.0	4.0
	社会保険病院	人	129	4	29	22	57	9	8
		%	100.0	3.1	22.5	17.1	44.2	7.0	6.2
無回答	人	5	-	2	-	3	-	-	
	%	100.0	-	40.0	-	60.0	-	-	

看護師の傾向

ア．性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、若い年代ほど「どちらとも言えない」という回答が多く、年代が上がるほど「少し変化した」という回答が多くなっており、年代が上がるほど DPC 導入後の医療内容の変化を感じている。

ウ．地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、公立、私立で「少し変化した」という回答が国立に比べてやや多いが、大きな差は見られない。

		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらとも言えない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答	
看護師	人	10,560	375	1,761	4,766	2,528	281	849	
	%	100.0	3.6	16.7	45.1	23.9	2.7	8.0	
性別	男性	人	201	6	30	98	51	8	8
		%	100.0	3.0	14.9	48.8	25.4	4.0	4.0
	女性	人	10,319	363	1,723	4,651	2,471	272	839
		%	100.0	3.5	16.7	45.1	23.9	2.6	8.1
	無回答	人	40	6	8	17	6	1	2
		%	100.0	15.0	20.0	42.5	15.0	2.5	5.0
年代別	20歳未満	人	6	-	-	5	1	-	-
		%	100.0	-	-	83.3	16.7	-	-
	20歳代	人	5,861	154	879	2,960	1,268	131	469
		%	100.0	2.6	15.0	50.5	21.6	2.2	8.0
	30歳代	人	2,604	87	412	1,083	735	110	177
		%	100.0	3.3	15.8	41.6	28.2	4.2	6.8
	40歳代	人	1,220	70	265	428	326	28	103
		%	100.0	5.7	21.7	35.1	26.7	2.3	8.4
	50歳代	人	670	55	166	215	149	9	76
		%	100.0	8.2	24.8	32.1	22.2	1.3	11.3
	60歳代以上	人	13	2	2	3	-	-	6
		%	100.0	15.4	15.4	23.1	-	-	46.2
	無回答	人	186	7	37	72	49	3	18
		%	100.0	3.8	19.9	38.7	26.3	1.6	9.7
地域別	北海道	人	715	24	131	290	213	18	39
		%	100.0	3.4	18.3	40.6	29.8	2.5	5.5
	東北	人	1,043	39	168	474	267	33	62
		%	100.0	3.7	16.1	45.4	25.6	3.2	5.9
	関東	人	1,639	69	305	755	346	43	121
		%	100.0	4.2	18.6	46.1	21.1	2.6	7.4
	東京	人	1,076	31	157	481	254	29	124
		%	100.0	2.9	14.6	44.7	23.6	2.7	11.5
	中部	人	1,305	33	164	617	340	39	112
		%	100.0	2.5	12.6	47.3	26.1	3.0	8.6
	関西	人	1,446	77	284	623	338	39	85
		%	100.0	5.3	19.6	43.1	23.4	2.7	5.9
中国・四国	人	1,356	42	216	643	284	28	143	
	%	100.0	3.1	15.9	47.4	20.9	2.1	10.5	
九州	人	1,980	60	336	883	486	52	163	
	%	100.0	3.0	17.0	44.6	24.5	2.6	8.2	
機関別	大学病院	人	9,580	343	1,632	4,298	2,296	259	752
		%	100.0	3.6	17.0	44.9	24.0	2.7	7.8
	国立	人	4,144	115	596	1,853	1,132	148	300
		%	100.0	2.8	14.4	44.7	27.3	3.6	7.2
	公立	人	1,293	45	238	517	335	36	122
		%	100.0	3.5	18.4	40.0	25.9	2.8	9.4
	私立	人	4,143	183	798	1,928	829	75	330
		%	100.0	4.4	19.3	46.5	20.0	1.8	8.0
社会保険病院	人	980	32	129	468	232	22	97	
	%	100.0	3.3	13.2	47.8	23.7	2.2	9.9	

DPC の理解度との関連

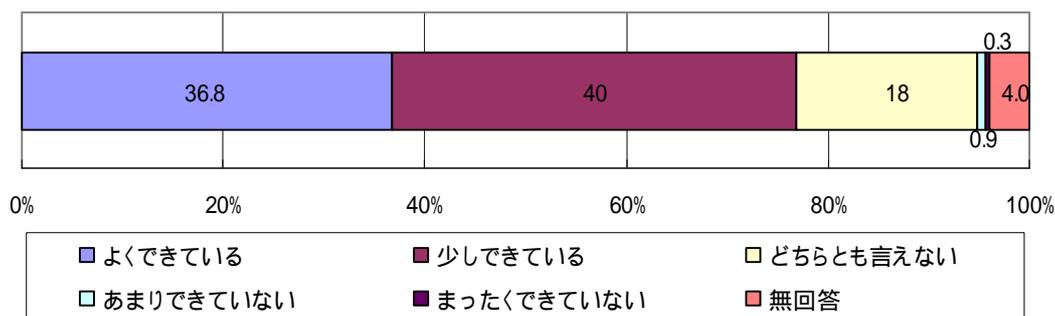
DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「大きく変化した」、「少し変化した」という回答が多くなっており、DPC の理解度と DPC による医療内容の変化についての認識には相関性が見られる。

		サンプル数	大きく変化した	少し変化した	どちらとも言えない	あまり変化していない	まったく変化していない	無回答
全体	人	15,154	590	2,696	6,039	4,132	625	1,072
	%	100.0	3.9	17.8	39.9	27.3	4.1	7.1
DPC の診断群分類について (質問 1)	よく理解している	人 328	43	88	57	94	31	15
	%	100.0	13.1	26.8	17.4	28.7	9.5	4.6
	ある程度理解している	人 3,432	225	838	985	1,059	143	182
	%	100.0	6.6	24.4	28.7	30.9	4.2	5.3
	どちらとも言えない	人 1,714	48	313	815	346	50	142
	%	100.0	2.8	18.3	47.5	20.2	2.9	8.3
	あまり理解していない	人 6,273	194	987	2,697	1,770	194	431
	%	100.0	3.1	15.7	43.0	28.2	3.1	6.9
	まったく理解していない	人 3,354	80	459	1,469	851	205	290
	%	100.0	2.4	13.7	43.8	25.4	6.1	8.6
無回答	人 53	-	11	16	12	2	12	
%	100.0	-	20.8	30.2	22.6	3.8	22.6	
DPC の包括の範囲について (質問 2)	よく理解している	人 298	44	75	41	96	22	20
	%	100.0	14.8	25.2	13.8	32.2	7.4	6.7
	ある程度理解している	人 2,761	179	749	722	843	132	136
	%	100.0	6.5	27.1	26.1	30.5	4.8	4.9
	どちらとも言えない	人 1,777	62	328	877	339	45	126
	%	100.0	3.5	18.5	49.4	19.1	2.5	7.1
	あまり理解していない	人 6,447	205	1,041	2,726	1,845	190	440
	%	100.0	3.2	16.1	42.3	28.6	2.9	6.8
	まったく理解していない	人 3,817	99	489	1,659	1,000	236	334
	%	100.0	2.6	12.8	43.5	26.2	6.2	8.8
無回答	人 54	1	14	14	9	-	16	
%	100.0	1.9	25.9	25.9	16.7	-	29.6	

(9) 患者からの信頼感の醸成（医師のみ回答）

全体傾向

患者から信頼感を得られているかどうかについては、「よくできている」(36.8%)、「少しできている」(40.0%)をあわせ、8割近くの医師が信頼感を得られていると回答しており、患者との信頼関係の構築に対する自己評価は高い。



ア．性別

性別でみると、男性では「よくできている」という回答割合が高く、女性では「少しできている」という回答割合が高くなっており、男性の方がより高く評価している。

イ．年代別

年代別でみると、年代があがるほど、「よくできている」という回答割合が高くなるのに一方で、「どちらとも言えない」という回答割合が低くなっており、年代があがるほど患者との信頼感醸成についての自己評価が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別でみると、関西で「よくできている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院を比較すると、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、公立で「よくできている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
全体	人	4,264	1,571	1,704	769	38	12	170	
	%	100.0	36.8	40.0	18.0	0.9	0.3	4.0	
性別	男性	人	3,669	1,403	1,423	656	34	9	144
		%	100.0	38.2	38.8	17.9	0.9	0.2	3.9
	女性	人	584	164	276	111	4	3	26
		%	100.0	28.1	47.3	19.0	0.7	0.5	4.5
	無回答	人	11	4	5	2	-	-	-
		%	100.0	36.4	45.5	18.2	-	-	-
年代別	20歳未満	人	-	-	-	-	-	-	-
		%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	人	523	134	252	116	4	-	17
		%	100.0	25.6	48.2	22.2	0.8	-	3.3
	30歳代	人	2,033	644	851	429	24	7	78
		%	100.0	31.7	41.9	21.1	1.2	0.3	3.8
	40歳代	人	1,254	576	455	161	7	4	51
		%	100.0	45.9	36.3	12.8	0.6	0.3	4.1
	50歳代	人	276	138	89	35	1	-	13
		%	100.0	50.0	32.2	12.7	0.4	-	4.7
	60歳代以上	人	51	31	12	4	-	-	4
		%	100.0	60.8	23.5	7.8	-	-	7.8
	無回答	人	127	48	45	24	2	1	7
		%	100.0	37.8	35.4	18.9	1.6	0.8	5.5
地域別	北海道	人	419	167	160	72	3	3	14
		%	100.0	39.9	38.2	17.2	0.7	0.7	3.3
	東北	人	426	142	151	102	7	3	21
		%	100.0	33.3	35.4	23.9	1.6	0.7	4.9
	関東	人	628	234	257	111	7	-	19
		%	100.0	37.3	40.9	17.7	1.1	-	3.0
	東京	人	415	150	162	83	7	-	13
		%	100.0	36.1	39.0	20.0	1.7	-	3.1
	中部	人	426	152	167	82	2	2	21
		%	100.0	35.7	39.2	19.2	0.5	0.5	4.9
	関西	人	462	200	176	63	4	2	17
		%	100.0	43.3	38.1	13.6	0.9	0.4	3.7
	中国・四国	人	593	220	255	95	4	1	18
		%	100.0	37.1	43.0	16.0	0.7	0.2	3.0
九州	人	890	303	375	160	4	1	47	
	%	100.0	34.0	42.1	18.0	0.4	0.1	5.3	
無回答	人	5	3	1	1	-	-	-	
	%	100.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-	
機関別	大学病院	人	4,130	1,518	1,656	743	38	12	163
		%	100.0	36.8	40.1	18.0	0.9	0.3	3.9
	国立	人	2,277	838	904	405	21	10	99
		%	100.0	36.8	39.7	17.8	0.9	0.4	4.3
		人	427	183	172	61	1	-	10
		%	100.0	42.9	40.3	14.3	0.2	-	2.3
	私立	人	1,426	497	580	277	16	2	54
		%	100.0	34.9	40.7	19.4	1.1	0.1	3.8
	社会保険病院	人	129	50	47	25	-	-	7
		%	100.0	38.8	36.4	19.4	-	-	5.4
	無回答	人	5	3	1	1	-	-	-
%		100.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-	

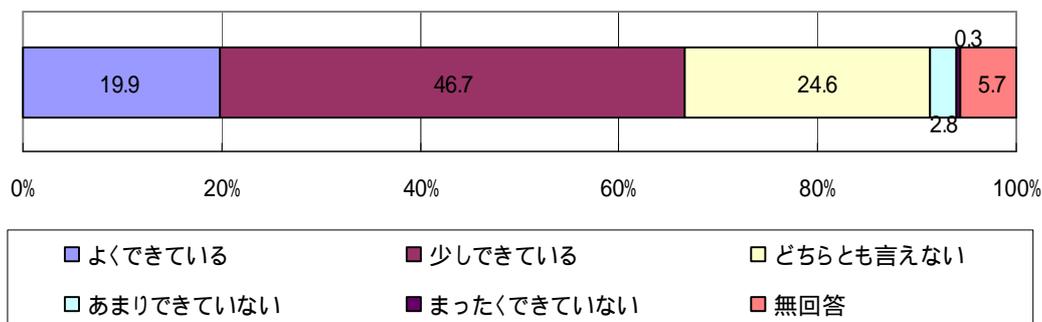
DPC の理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員では「よくできている」という回答が多くなっており、DPC の理解度と患者との信頼感の醸成に対する自己評価との間には相関性が見られる。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体	人	4,264	1,571	1,704	769	38	12	170
	%	100.0	36.8	40.0	18.0	0.9	0.3	4.0
DPC の診断群分類に関する理解度 (質問1)	よく理解している	人 263	171	63	19	2	-	8
	%	100.0	65.0	24.0	7.2	0.8	-	3.0
	ある程度理解している	人 2,010	853	815	245	10	2	85
	%	100.0	42.4	40.5	12.2	0.5	0.1	4.2
	どちらとも言えない	人 516	131	233	123	1	1	27
	%	100.0	25.4	45.2	23.8	0.2	0.2	5.2
	あまり理解していない	人 1,153	334	482	280	21	3	33
	%	100.0	29.0	41.8	24.3	1.8	0.3	2.9
	まったく理解していない	人 312	78	106	101	4	6	17
	%	100.0	25.0	34.0	32.4	1.3	1.9	5.4
無回答	人 10	4	5	1	-	-	-	
%	100.0	40.0	50.0	10.0	-	-	-	
DPC の包括の範囲に関する理解度 (質問2)	よく理解している	人 239	157	52	15	1	-	14
	%	100.0	65.7	21.8	6.3	0.4	-	5.9
	ある程度理解している	人 1,724	779	667	206	9	1	62
	%	100.0	45.2	38.7	11.9	0.5	0.1	3.6
	どちらとも言えない	人 581	136	271	144	2	1	27
	%	100.0	23.4	46.6	24.8	0.3	0.2	4.6
	あまり理解していない	人 1,318	392	563	290	23	3	47
	%	100.0	29.7	42.7	22.0	1.7	0.2	3.6
	まったく理解していない	人 393	103	148	114	3	7	18
	%	100.0	26.2	37.7	29.0	0.8	1.8	4.6
無回答	人 9	4	3	-	-	-	2	
%	100.0	44.4	33.3	-	-	-	22.2	

(10) 入院中の看護方法や療養生活支援の状況（看護師のみ回答）

入院中の看護方法や療養生活支援については、「少しできている」という回答が46.7%と最も多く次いで「どちらとも言えない」(24.6%)、「よくできている」(19.9%)の順に多い。7割近い看護師ができていると回答しており、比較的高い自己評価となっている。



ア．性別

性別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

イ．年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなる一方で、「どちらとも言えない」という回答割合が低くなっており、年代があがるほど看護方法や療養生活支援についての自己評価が高くなる傾向にある。

ウ．地域別

地域別でみると、北海道や関西で「よくできている」という回答割合が高いのが特徴的であるが、回答傾向には大きな差は見られない。

エ．機関別

大学病院と社会保険病院の比較では、回答傾向に大きな差は見られない。

また、国・公・私立の別でみると、公立で「よくできている」という回答割合がやや高いのが特徴的であるが、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
全体	人	10,560	2,099	4,936	2,603	295	29	598	
	%	100.0	19.9	46.7	24.6	2.8	0.3	5.7	
性別	男性	人	201	35	87	59	10	3	7
		%	100.0	17.4	43.3	29.4	5.0	1.5	3.5
	女性	人	10,319	2,054	4,831	2,535	285	26	588
		%	100.0	19.9	46.8	24.6	2.8	0.3	5.7
	無回答	人	40	10	18	9	-	-	3
		%	100.0	25.0	45.0	22.5	-	-	7.5
年代別	20歳未満	人	6	1	4	1	-	-	-
		%	100.0	16.7	66.7	16.7	-	-	-
	20歳代	人	5,861	919	2,886	1,633	127	12	284
		%	100.0	15.7	49.2	27.9	2.2	0.2	4.8
	30歳代	人	2,604	578	1,176	605	97	11	137
		%	100.0	22.2	45.2	23.2	3.7	0.4	5.3
	40歳代	人	1,220	351	522	213	39	4	91
		%	100.0	28.8	42.8	17.5	3.2	0.3	7.5
	50歳代	人	670	208	275	92	22	2	71
		%	100.0	31.0	41.0	13.7	3.3	0.3	10.6
	60歳代以上	人	13	4	4	1	1	-	3
		%	100.0	30.8	30.8	7.7	7.7	-	23.1
	無回答	人	186	38	69	58	9	-	12
		%	100.0	20.4	37.1	31.2	4.8	-	6.5
地域別	北海道	人	715	214	336	135	14	1	15
		%	100.0	29.9	47.0	18.9	2.0	0.1	2.1
	東北	人	1,043	247	476	238	33	1	48
		%	100.0	23.7	45.6	22.8	3.2	0.1	4.6
	関東	人	1,639	259	810	445	47	2	76
		%	100.0	15.8	49.4	27.2	2.9	0.1	4.6
	東京	人	1,076	196	442	305	41	5	87
		%	100.0	18.2	41.1	28.3	3.8	0.5	8.1
	中部	人	1,305	188	617	371	44	4	81
		%	100.0	14.4	47.3	28.4	3.4	0.3	6.2
	関西	人	1,446	407	665	292	23	2	57
		%	100.0	28.1	46.0	20.2	1.6	0.1	3.9
中国・四国	人	1,356	257	625	335	33	3	103	
	%	100.0	19.0	46.1	24.7	2.4	0.2	7.6	
九州	人	1,980	331	965	482	60	11	131	
	%	100.0	16.7	48.7	24.3	3.0	0.6	6.6	
機関別	大学病院	人	9,580	1,942	4,537	2,301	270	22	508
		%	100.0	20.3	47.4	24.0	2.8	0.2	5.3
	国立	人	4,144	822	1,995	1,004	152	10	161
		%	100.0	19.8	48.1	24.2	3.7	0.2	3.9
	公立	人	1,293	347	542	292	28	3	81
		%	100.0	26.8	41.9	22.6	2.2	0.2	6.3
	私立	人	4,143	773	2,000	1,005	90	9	266
		%	100.0	18.7	48.3	24.3	2.2	0.2	6.4
社会保険病院	人	980	157	399	302	25	7	90	
	%	100.0	16.0	40.7	30.8	2.6	0.7	9.2	